

# ITアーキテクト

## 職種概要

職種:IT アーキテクト

# IT アーキテクトの概要

職種	ITアーキテクト				
専門分野	アプリケーション	データサービス	ネットワーク	セキュリティ	システムマネジメント
レベル7					
レベル6					
レベル5					
レベル4					
レベル3					
レベル2					
レベル1					

## 職種の説明

ビジネス上の課題解決のためのアーキテクチャ設計を実施する

IT投資の局面においては、戦略的情報化企画(課題整理と分析(ビジネス及びIT)、ソリューション設計(構造とパターン))及び開発(コンポーネント設計(システム及び業務))を主な活動領域として以下を実施する

- 戦略的情報化企画
  - ・ソリューションの枠組み策定
  - ・ソリューション設計
- 開発
  - ・コンポーネント設計の助言

当該職種は、以下の専門分野に区分される

### アプリケーション

ソリューション及びソリューションコンポーネントを機能的な見地にフォーカスしたシステム方式設計を行う

### データサービス

ソリューションをデータの見地から必要となる構成要素にフォーカスしたシステム方式設計を行う

### ネットワーク

ソリューション及びソリューションコンポーネントをネットワークの見地にフォーカスしたシステム方式設計を行う

### セキュリティ

ソリューションを企業内、企業間のセキュリティのビジネスニーズにフォーカスしたシステム方式設計を行う

### システムマネジメント

ソリューションを大規模かつ複雑なシステムのシステム運用にフォーカスしたシステム方式設計を行う

## 達成度指標

職種:IT アーキテクト

# IT アーキテクトの達成度指標

専門分野	達成度指標	
アプリケーション 1 of 4	レベル7	<p><b>責任性:</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 下記複雑性、サイズに相当するプロジェクトにおける技術チーム責任者として、ソリューションの実現に対する責任を持ち、プロジェクトを遂行した経験と実績を有する</li> </ul> <p><b>複雑性:</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 以下の幾つかに相当する複雑度の高いプロジェクトにおけるソリューションの実現を 2 回以上実施した経験と実績を有する               <ul style="list-style-type: none"> <li>システム化対象業務範囲、機能が広範囲でかつ複雑</li> <li>先進的であるが使用実績の少ない技術を使用</li> <li>マルチベンダ製品の混在</li> <li>ミッションクリティカルなシステムであり高品質を要求</li> </ul> </li> </ul> <p><b>サイズ:</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 以下の規模に相当するプロジェクトにおいて、システム方式設計に基づいたアプリケーション領域を中心としたソリューションの実現を 2 回以上成功裡に実施した経験と実績を有する               <ul style="list-style-type: none"> <li>ピーク時の要員数、500 人以上のプロジェクト</li> <li>複数の専門分野のアーキテクトが参画</li> </ul> </li> </ul> <p><b>タスク特性:</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- アプリケーション分野の幅広い高度な専門性を踏まえたソリューション実現及びプロフェッショナル活動の経験と実績を有する               <ul style="list-style-type: none"> <li>アプリケーションインテグレーション、アプリケーション開発と実施、ワークフロー機能、業務プロセス機能、ユーザーインターフェイス機能等の幅広い専門性の活用</li> <li>企業、企業グループ、大規模、または国際的なアーキテクトチームのリード</li> <li>後進育成、学会等外部団体のコミュニティ活動、論文執筆、講演活動、ビジネス特許取得等のプロフェッショナルとしての顕著な貢献と実績</li> </ul> </li> </ul>

# IT アーキテクトの達成度指標

専門分野	達成度指標	
アプリケーション 2 of 4	レベル6	<p><b>責任性:</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 下記複雑性、サイズに相当するプロジェクトにおける技術チーム責任者として、ソリューションの実現に対する責任を持ち、プロジェクトを遂行した経験と実績を有する</li> </ul> <p><b>複雑性:</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 以下の幾つかに相当する複雑度の高いプロジェクトにおけるソリューションの実現を少なくとも1回実施した経験と実績を有する               <ul style="list-style-type: none"> <li>システム化対象業務範囲、機能が広範囲でかつ複雑</li> <li>先進的であるが使用実績の少ない技術を使用</li> <li>マルチベンダ製品の混在</li> <li>ミッションクリティカルなシステムであり高品質を要求</li> </ul> </li> </ul> <p><b>サイズ:</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 以下の規模に相当するプロジェクトにおいて、システム方式設計に基づいたアプリケーション領域を中心としたソリューションの実現を少なくとも1回成功裡に実施した経験と実績を有する               <ul style="list-style-type: none"> <li>ピーク時の要員数 50 人以上 500 人未満のプロジェクト</li> <li>複数の専門分野のアーキテクトが参画</li> </ul> </li> </ul> <p><b>タスク特性:</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- アプリケーション分野の幅広い高度な専門性を踏まえたソリューション実現及びプロフェッショナル活動の経験と実績を有する               <ul style="list-style-type: none"> <li>アプリケーションインテグレーション、アプリケーション開発と実施、ワークフロー機能、業務プロセス機能、ユーザインターフェイス機能等の幅広い専門性の活用</li> <li>技術的な問題に関する技術チームのリード</li> <li>後進育成、学会等外部団体のコミュニティ活動、論文執筆、講演活動、ビジネス特許取得等のプロフェッショナルとしての顕著な貢献と実績</li> </ul> </li> </ul>

# IT アーキテクトの達成度指標

専門分野	達成度指標	
アプリケーション 3 of 4	レベル5	<p><b>責任性:</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 下記複雑性、サイズに相当するプロジェクトにおける技術チーム責任者として、ソリューションの実現に対する責任を持ち、プロジェクトを遂行した経験と実績を有する</li> </ul> <p><b>複雑性:</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 以下の幾つかに相当する複雑度の高いプロジェクトにおけるソリューションの実現を少なくとも1回実施した経験と実績を有する               <ul style="list-style-type: none"> <li>システム化対象業務範囲、機能が広範囲でかつ複雑</li> <li>先進的であるが使用実績の少ない技術を使用</li> <li>マルチベンダ製品の混在</li> <li>ミッションクリティカルなシステムであり高品質を要求</li> </ul> </li> </ul> <p><b>サイズ:</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 以下の規模に相当するプロジェクトにおいて、システム方式設計に基づいたアプリケーション領域を中心としたソリューションの実現を成功裡に実施した経験と実績を有する               <ul style="list-style-type: none"> <li>ピーク時の要員数 10 人以上 50 人未満のプロジェクト</li> <li>2 名以上のアプリケーション分野のアーキテクトが参画</li> </ul> </li> </ul> <p><b>タスク特性:</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- アプリケーション分野の幅広い専門性を踏まえたソリューション実現及びプロフェッショナル活動の経験と実績を有する               <ul style="list-style-type: none"> <li>アプリケーションインテグレーション、アプリケーション開発と実施、ワークフロー機能、業務プロセス機能、ユーザインターフェイス機能等の幅広い専門性の活用</li> <li>プロジェクトチームに対するテクニカルガイダンスの実施</li> <li>後進育成、社内のコミュニティ活動、社内の論文、技術レポートの執筆等のプロフェッショナルとしての顕著な貢献と実績</li> </ul> </li> </ul>

# IT アーキテクトの達成度指標

専門分野	達成度指標	
アプリケーション 4 of 4	レベル4	<p><b>責任性:</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 下記複雑性、サイズに相当するプロジェクトにおける技術チームリーダーとして、ソリューションの実現に対する責任を持ち、プロジェクトを遂行した経験と実績を有する</li> </ul> <p><b>複雑性:</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 以下の幾つかに相当する複雑度の高いプロジェクトにおけるソリューションの実現に少なくとも1回参画した経験と実績を有する               <ul style="list-style-type: none"> <li>システム化対象業務範囲、機能が広範囲でかつ複雑</li> <li>先進的であるが使用実績の少ない技術を使用</li> <li>マルチベンダ製品の混在</li> <li>ミッションクリティカルなシステムであり高品質を要求</li> </ul> </li> </ul> <p><b>サイズ:</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 以下の規模に相当するプロジェクトにおいて、システム方式設計に基づいたアプリケーション領域を中心としたソリューションの実現にITアーキテクトとして参画した経験と実績を有する               <ul style="list-style-type: none"> <li>ピーク時の要員数 10 人未満のプロジェクト</li> </ul> </li> </ul> <p><b>タスク特性:</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- アプリケーション分野の専門性を踏まえたソリューション実現及びプロフェッショナル活動の経験と実績を有する               <ul style="list-style-type: none"> <li>アプリケーション分野の専門性の活用</li> <li>社内のコミュニティ活動、または社内の論文、技術レポートの執筆等のプロフェッショナルとしての貢献と実績</li> </ul> </li> </ul>

# IT アーキテクトの達成度指標

専門分野	達成度指標	
データサービス 1 of 3	レベル7	<p><b>責任性:</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 下記複雑性、サイズに相当するプロジェクトにおける技術チーム責任者として、ソリューションの実現に対する責任を持ち、プロジェクトを遂行した経験と実績を有する</li> </ul> <p><b>複雑性:</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 以下の幾つかに相当する複雑度の高いプロジェクトにおけるソリューションの実現を 2 回以上実施した経験と実績を有する               <ul style="list-style-type: none"> <li>取り扱うデータ量が多く、データベースの構造も複雑</li> <li>データベースやファイルの整合性確保方法や処理タイミングが複雑</li> <li>先進的であるが使用実績の少ないデータベース製品を使用</li> <li>マルチベンダ製品の混在</li> <li>ミッションクリティカルなシステムであり高品質を要求</li> <li>分散データベースを多用</li> </ul> </li> </ul> <p><b>サイズ:</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 以下の規模に相当するプロジェクトにおいて、システム方式設計に基づいたデータサービス領域を中心としたソリューションの実現を 2 回以上成功裡に実施した経験と実績を有する               <ul style="list-style-type: none"> <li>ピーク時の要員数 500 人以上のプロジェクト</li> <li>複数の専門分野のアーキテクトが参画</li> </ul> </li> </ul> <p><b>タスク特性:</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- データサービス分野の幅広い高度な専門性を踏まえたソリューション実現及びプロフェッショナル活動の経験と実績を有する               <ul style="list-style-type: none"> <li>データベース、ファイル、ストレジシステム、データプロセス間の関連定義、またはロケーション、完全性、可用性、パフォーマンス、世代管理等のデータ要件等の幅広い専門性の活用</li> <li>企業、企業グループ、大規模、または国際的なアーキテクトチームのリード</li> <li>後進育成、学会等外部団体のコミュニティ活動、論文執筆、講演活動、ビジネス特許取得等のプロフェッショナルとしての顕著な貢献と実績</li> </ul> </li> </ul>

# IT アーキテクトの達成度指標

専門分野	達成度指標	
データサービス 2 of 3	レベル6	<p><b>責任性:</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 下記複雑性、サイズに相当するプロジェクトにおける技術チーム責任者として、ソリューションの実現に対する責任を持ち、プロジェクトを遂行した経験と実績を有する</li> </ul> <p><b>複雑性</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 以下の幾つかに相当する複雑度の高いプロジェクトにおけるソリューションの実現を少なくとも1回実施した経験と実績を有する               <ul style="list-style-type: none"> <li>取り扱うデータ量が多く、データベースの構造も複雑</li> <li>データベースやファイルの整合性確保方法や処理タイミングが複雑</li> <li>先進的であるが使用実績の少ないデータベース製品を使用</li> <li>マルチベンダ製品の混在</li> <li>ミッションクリティカルなシステムであり高品質を要求</li> <li>分散データベースを多用</li> </ul> </li> </ul> <p><b>サイズ:</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 以下の規模に相当するプロジェクトにおいて、システム方式設計に基づいたデータサービス領域を中心としたソリューションの実現を少なくとも1回成功裡に実施した経験と実績を有する               <ul style="list-style-type: none"> <li>ピーク時の要員数 50 人以上 500 人未満のプロジェクト</li> <li>複数の専門分野のアーキテクトが参画</li> </ul> </li> </ul> <p><b>タスク特性:</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- データサービス分野の幅広い高度な専門性を踏まえたソリューション実現及びプロフェッショナル活動の経験と実績を有する               <ul style="list-style-type: none"> <li>データベース、ファイル、ストレージシステム、データプロセス間の関連定義、またはロケーション、完全性、可用性、パフォーマンス、世代管理等のデータ要件等の幅広い専門性の活用</li> <li>技術的な問題に関する技術チームのリード</li> <li>後進育成、学会等外部団体のコミュニティ活動、論文執筆、講演活動、ビジネス特許取得等のプロフェッショナルとしての顕著な貢献と実績</li> </ul> </li> </ul>

# IT アーキテクトの達成度指標

専門分野	達成度指標	
データサービス 3 of 3	レベル5	<p><b>責任性:</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 下記複雑性、サイズに相当するプロジェクトにおける技術チーム責任者として、ソリューションの実現に対する責任を持ち、プロジェクトを遂行した経験と実績を有する</li> </ul> <p><b>複雑性:</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 以下の幾つかに相当する複雑度の高いプロジェクトを複数成功させた実績を有する               <ul style="list-style-type: none"> <li>取り扱うデータ量が多く、データベースの構造も複雑</li> <li>データベースやファイルの整合性確保方法や処理タイミングが複雑</li> <li>先進的であるが使用実績の少ないデータベース製品を使用</li> <li>マルチベンダ製品の混在</li> <li>ミッションクリティカルなシステムであり高品質を要求</li> </ul> </li> </ul> <p><b>サイズ:</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 以下の規模に相当するプロジェクトにおいて、システム方式設計に基づいたデータサービス領域を中心としたソリューションの実現を成功裡に実施した経験と実績を有する               <ul style="list-style-type: none"> <li>ピーク時の要員数 10 人以上 50 人未満のプロジェクト</li> <li>2 名以上のデータサービス分野のアーキテクトが参画</li> </ul> </li> </ul> <p><b>タスク特性:</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- データサービス分野の幅広い専門性を踏まえたソリューション実現及びプロフェッショナル活動の経験と実績を有する               <ul style="list-style-type: none"> <li>データベース、ファイル、ストレージシステム、データプロセス間の関連定義、またはロケーション、完全性、可用性、パフォーマンス、世代管理等のデータ要件等の幅広い専門性の活用</li> <li>プロジェクトチームに対するテクニカルガイダンスの実施</li> <li>後進育成、社内のコミュニティ活動、社内の論文、技術レポートの執筆等のプロフェッショナルとしての顕著な貢献と実績</li> </ul> </li> </ul>

# IT アーキテクトの達成度指標

専門分野	達成度指標	
ネットワーク  1 of 2	レベル6	<p><b>責任性:</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 下記複雑性、サイズに相当するプロジェクトにおける技術チーム責任者として、ソリューションの実現に対する責任を持ち、プロジェクトを遂行した経験と実績を有する</li> </ul> <p><b>複雑性:</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 以下の幾つかに相当する複雑度の高いプロジェクトにおけるソリューションの実現を少なくとも1回実施した経験と実績を有する               <ul style="list-style-type: none"> <li>拠点数多く、ネットワークの構造も複雑</li> <li>24時間365日の連続稼働が要求され、変更、保守、障害回復に高度な設計が必要</li> <li>先進的であるが使用実績の少ないネットワーク製品を使用</li> <li>マルチベンダ製品の混在</li> <li>負荷分散、セキュリティ確保に高品質を要求</li> <li>高トラフィックのシステム</li> </ul> </li> </ul> <p><b>サイズ:</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 以下の規模に相当するプロジェクトにおいて、システム方式設計に基づいたネットワーク領域を中心としたソリューションの実現を少なくとも1回成功裡に実施した経験と実績を有する               <ul style="list-style-type: none"> <li>ピーク時の要員数50人以上のプロジェクト、または300拠点以上の大規模ネットワークプロジェクト</li> <li>複数の専門分野のアーキテクトが参画</li> </ul> </li> </ul> <p><b>タスク特性:</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- ネットワーク分野の幅広い高度な専門性を踏まえたソリューション実現及びプロフェッショナル活動の経験と実績を有する               <ul style="list-style-type: none"> <li>レイヤ定義、プロトコル等の幅広い専門性の活用</li> <li>技術的な問題に関する技術チームのリード</li> <li>後進育成、学会等外部団体のコミュニティ活動、論文執筆、講演活動、ビジネス特許取得等のプロフェッショナルとしての顕著な貢献と実績</li> </ul> </li> </ul>

# IT アーキテクトの達成度指標

専門分野	達成度指標	
ネットワーク 2 of 2	レベル5	<p><b>責任性:</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 下記複雑性、サイズに相当するプロジェクトにおける技術チーム責任者として、ソリューションの実現に対する責任を持ち、プロジェクトを遂行した経験と実績を有する</li> </ul> <p><b>複雑性:</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 以下の幾つかに相当する複雑度の高いプロジェクトを複数成功させた実績を有する               <ul style="list-style-type: none"> <li>拠点数多く、ネットワークの構造も複雑</li> <li>24時間365日の連続稼働が要求され、変更、保守、障害回復に高度な設計が必要</li> <li>先進的であるが使用実績の少ないネットワーク製品を使用</li> <li>マルチベンダ製品の混在</li> <li>負荷分散、セキュリティ確保に高品質を要求</li> <li>高トラフィックのシステム</li> </ul> </li> </ul> <p><b>サイズ:</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 以下の規模に相当するプロジェクトにおいて、システム方式設計に基づいたネットワーク領域を中心としたソリューションの実現を成功裡に実施した経験と実績を有する               <ul style="list-style-type: none"> <li>ピーク時の要員数 10人以上 50人未満のプロジェクト、または 100拠点以上 300拠点未満の中規模ネットワークプロジェクト</li> <li>2名以上のネットワーク分野のアーキテクトが参画</li> </ul> </li> </ul> <p><b>タスク特性:</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- ネットワーク分野の幅広い専門性を踏まえたソリューション実現及びプロフェッショナル活動の経験と実績を有する               <ul style="list-style-type: none"> <li>レイヤ定義、プロトコル等の幅広い専門性の活用</li> <li>プロジェクトチームに対するテクニカルガイダンスの実施</li> <li>後進育成、社内のコミュニティ活動、社内の論文、技術レポートの執筆等のプロフェッショナルとしての顕著な貢献と実績</li> </ul> </li> </ul>

# IT アーキテクトの達成度指標

専門分野	達成度指標	
セキュリティ  1 of 2	レベル6	<p><b>責任性:</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 下記複雑性、サイズに相当するプロジェクトにおける技術チーム責任者として、ソリューションの実現に対する責任を持ち、プロジェクトを遂行した経験と実績を有する</li> </ul> <p><b>複雑性:</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 以下の幾つかに相当する複雑度の高いプロジェクトを複数成功させた実績を有する               <ul style="list-style-type: none"> <li>インターネットとの接続されており、外部からの脅威にさらされる危険性が大</li> <li>複雑・高度なアクセスコントロール要求</li> <li>複雑・高度な物理的セキュリティ要求</li> <li>高度のプライバシー要求</li> <li>高度の機密性要求</li> <li>セキュリティ上の脆弱性が企業に多大な損害を与えるシステム</li> </ul> </li> </ul> <p><b>サイズ:</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 以下の規模に相当するプロジェクトにおいて、システム方式設計に基づいたセキュリティ領域を中心としたソリューションの実現を少なくとも1回成功裡に実施した経験と実績を有する               <ul style="list-style-type: none"> <li>ピーク時の要員数 50 人以上のプロジェクト</li> <li>複数の専門分野のアーキテクトが参画</li> </ul> </li> </ul> <p><b>タスク特性:</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- セキュリティ分野の幅広い高度な専門性を踏まえたソリューション実現及びプロフェッショナル活動の経験と実績を有する               <ul style="list-style-type: none"> <li>イントラネットのセキュリティソリューション、インターネットのセキュリティソリューション、セキュリティ管理、セキュリティ関連標準、法規等の幅広い専門性の活用</li> <li>技術的な問題に関する技術チームのリード</li> <li>後進育成、学会等外部団体のコミュニティ活動、論文執筆、講演活動、ビジネス特許取得等のプロフェッショナルとしての顕著な貢献と実績</li> </ul> </li> </ul>

# IT アーキテクトの達成度指標

専門分野	達成度指標	
セキュリティ 2 of 2	レベル5	<p><b>責任性:</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 下記複雑性、サイズに相当するプロジェクトにおける技術チーム責任者として、ソリューションの実現に対する責任を持ち、プロジェクトを遂行した経験と実績を有する</li> </ul> <p><b>複雑性:</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 以下の幾つかに相当する複雑度の高いプロジェクトにおけるソリューションの実現を少なくとも1回実施した経験と実績を有する               <ul style="list-style-type: none"> <li>インターネットとの接続されており、外部からの脅威にさらされる危険性が大</li> <li>複雑・高度なアクセスコントロール要求</li> <li>複雑・高度な物理的セキュリティ要求</li> <li>高度のプライバシー要求</li> <li>高度の機密性要求</li> <li>セキュリティ上の脆弱性が企業に多大な損害を与えるシステム</li> </ul> </li> </ul> <p><b>サイズ:</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 以下の規模に相当するプロジェクトにおいて、システム方式設計に基づいたセキュリティ領域を中心としたソリューションの実現を成功裡に実施した経験と実績を有する               <ul style="list-style-type: none"> <li>ピーク時の要員数 10 人以上 50 人未満のプロジェクト</li> <li>2名以上のセキュリティ分野のアーキテクトが参画</li> </ul> </li> </ul> <p><b>タスク特性:</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- セキュリティ分野の幅広い専門性を踏まえたソリューション実現及びプロフェッショナル活動の経験と実績を有する               <ul style="list-style-type: none"> <li>イントラネットのセキュリティソリューション、インターネットのセキュリティソリューション、セキュリティ管理、セキュリティ関連標準、法規等の幅広い専門性の活用</li> <li>プロジェクトチームに対するテクニカルガイダンスの実施</li> <li>後進育成、社内のコミュニティ活動、社内の論文、技術レポートの執筆等のプロフェッショナルとしての顕著な貢献と実績</li> </ul> </li> </ul>

# IT アーキテクトの達成度指標

専門分野	達成度指標	
システムマネジメント 1 of 3	レベル7	<p><b>責任性:</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 下記複雑性、サイズに相当するプロジェクトにおける技術チーム責任者として、ソリューションの実現に対する責任を持ち、プロジェクトを遂行した経験と実績を有する</li> </ul> <p><b>複雑性:</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 以下の幾つかに相当する複雑度の高いプロジェクトにおけるソリューションの実現を 2 回以上実施した経験と実績を有する               <ul style="list-style-type: none"> <li>複雑な運用方法、処理ロジック、タイミング、ファイル整合性などの特性を保持</li> <li>パッケージを使用するがパッケージベンダのサポート体制が不明瞭</li> <li>古いアーキテクチャを継承している製品を使用しており、新旧のアーキテクチャが混在</li> <li>初期リリースが 10 年以上前の製品などを中核</li> <li>マルチベンダ製品が混在</li> <li>マルチプラットフォームが混在</li> </ul> </li> </ul> <p><b>サイズ:</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 以下の規模に相当するプロジェクトにおいて、システム方式設計に基づいたシステムマネジメントを中心としたソリューションの実現を 2 回以上成功裡に実施した経験と実績を有する               <ul style="list-style-type: none"> <li>ピーク時の要員数 500 人以上のプロジェクト</li> <li>複数の専門分野のアーキテクトが参画</li> </ul> </li> </ul> <p><b>タスク特性:</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- システムマネジメント分野の幅広い高度な専門性を踏まえたソリューション実現及びプロフェッショナル活動の経験と実績を有する               <ul style="list-style-type: none"> <li>情報システムストラテジ、情報システムデザイン、システム運用(集中型、分散型、各種サーバ、ユーザシステム)、問題管理、回復処理変更管理、予防保守、パフォーマンス及びキャパシティ管理等の幅広い専門性の活用</li> <li>企業、企業グループ、大規模、または国際的なアーキテクトチームのリード</li> <li>後進育成、学会等外部団体のコミュニティ活動、論文執筆、講演活動、ビジネス特許取得等のプロフェッショナルとしての顕著な貢献と実績</li> </ul> </li> </ul>

# IT アーキテクトの達成度指標

専門分野	達成度指標	
システムマネジメント 2 of 3	レベル6	<p><b>責任性:</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 下記複雑性、サイズに相当するプロジェクトにおける技術チーム責任者として、ソリューションの実現に対する責任を持ち、プロジェクトを遂行した経験と実績を有する</li> </ul> <p><b>複雑性:</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 以下の幾つかに相当する複雑度の高いプロジェクトにおけるソリューションの実現を少なくとも1回実施した経験と実績を有する               <ul style="list-style-type: none"> <li>複雑な運用方法、処理ロジック、タイミング、ファイル整合性などの特性を保持</li> <li>パッケージを使用するがパッケージベンダのサポート体制が不明瞭</li> <li>古いアーキテクチャを継承している製品を使用しており、新旧のアーキテクチャが混在</li> <li>初期リリースが10年以上前の製品などを中核</li> <li>マルチベンダ製品が混在</li> <li>マルチプラットフォームが混在</li> </ul> </li> </ul> <p><b>サイズ:</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 以下の規模に相当するプロジェクトにおいて、システム方式設計に基づいたシステムマネジメントを中心としたソリューションの実現を少なくとも1回成功裡に実施した経験と実績を有する               <ul style="list-style-type: none"> <li>ピーク時の要員数50人以上500人未満のプロジェクト</li> <li>複数の専門分野のアーキテクトが参画</li> </ul> </li> </ul> <p><b>タスク特性:</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- システムマネジメント分野の幅広い高度な専門性を踏まえたソリューション実現及びプロフェッショナル活動の経験と実績を有する               <ul style="list-style-type: none"> <li>情報システムストラテジ、情報システムデザイン、システム運用(集中型、分散型、各種サーバ、ユーザシステム)、問題管理、回復処理変更管理、予防保守、パフォーマンス及びキャパシティ管理等の幅広い専門性の活用</li> <li>技術的な問題に関する技術チームのリード</li> <li>後進育成、学会等外部団体のコミュニティ活動、論文執筆、講演活動、ビジネス特許取得等のプロフェッショナルとしての顕著な貢献と実績</li> </ul> </li> </ul>

# IT アーキテクトの達成度指標

専門分野	達成度指標	
システムマネジメント 3 of 3	レベル5	<p><b>責任性:</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 下記複雑性、サイズに相当するプロジェクトにおける技術チーム責任者として、ソリューションの実現に対する責任を持ち、プロジェクトを遂行した経験と実績を有する</li> </ul> <p><b>複雑性:</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 以下の幾つかに相当する複雑度の高いプロジェクトを複数成功させた実績を有する               <ul style="list-style-type: none"> <li>複雑な運用方法、処理ロジック、タイミング、ファイル整合性などの特性を保持</li> <li>パッケージを使用するがパッケージベンダのサポート体制が不明瞭</li> <li>古いアーキテクチャを継承している製品を使用しており、新旧のアーキテクチャが混在</li> <li>初期リリースが10年以上前の製品などを中核</li> <li>マルチベンダ製品が混在</li> <li>マルチプラットフォームが混在</li> </ul> </li> </ul> <p><b>サイズ:</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 以下の規模に相当するプロジェクトにおいて、システム方式設計に基づいたシステムマネジメント領域を中心としたソリューションの実現を成功裡に実施した経験と実績を有する               <ul style="list-style-type: none"> <li>ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクト</li> <li>2名以上のシステムマネジメント分野のアーキテクトが参画</li> </ul> </li> </ul> <p><b>タスク特性:</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- システムマネジメント分野の幅広い専門性を踏まえたソリューション実現及びプロフェッショナル活動の経験と実績を有する               <ul style="list-style-type: none"> <li>情報システムストラテジ、情報システムデザイン、システム運用(集中型、分散型、各種サーバ、ユーザシステム)、問題管理、回復処理変更管理、予防保守、パフォーマンス及びキャパシティ管理等の幅広い専門性の活用</li> <li>プロジェクトチームに対するテクニカルガイダンスの実施</li> <li>後進育成、社内のコミュニティ活動、社内の論文、技術レポートの執筆等のプロフェッショナルとしての顕著な貢献と実績</li> </ul> </li> </ul>

# スキル領域

職種:IT アーキテクト

# IT アーキテクトのスキル領域

専門分野	スキル領域	
	職種共通スキル項目	専門分野固有スキル項目
アプリケーション	<p><b>アーキテクチャ構築</b> ソリューションアーキテクチャ構築、代替ソリューション分析、要件定義</p> <p><b>デザイン</b> モデリングテクニックの活用と実践、IT標準の適用、再利用テクニックの活用と実践、技術的検証、データモデリングの適用、プロセスモデリングの適用</p> <p><b>テクニカル</b> プラットフォーム/要素技術の比較、システム運用技術の検証、技術的問題の解決</p> <p><b>メソドロジ</b> メソドロジ選択と適用</p> <p><b>コンサルティング</b> コンサルティングテクニックの活用と実践</p> <p><b>プロジェクトマネジメント</b> プロジェクト計画策定と実施、変更管理</p> <p><b>インダストリ</b> 業界ビジネス/技術/競合動向に関する提言、インダストリアプリケーションに関する助言</p> <p><b>リーダーシップ</b> チームリード、技術的指針の提示、リーダーシップスタイルの適用</p> <p><b>コミュニケーション</b> 効果的かつ効率的な文書力及び会話力の活用、良好な顧客関係の維持</p> <p><b>ネゴシエーション</b> 指針の提供、成功要件の提供</p>	<p><b>アプリケーション機能デザイン</b> 機能配置、アプリケーションの選択、要件確認と調整、アプリケーション開発メソドロジ活用、設計とコードインスペクションの実施</p>
データサービス		<p><b>データ構成要素デザイン</b> データ共有と再利用の実施、データ配置、キャパシティ計画策定、ストレージ管理計画策定、データモデリング技術活用</p>
ネットワーク		<p><b>ネットワークデザイン</b> 既存ネットワーク検証及び環境の検証、トポロジ選択実施、ネットワーク戦略構築、ネットワーク標準策定</p>
セキュリティ		<p><b>セキュリティデザイン</b> セキュリティメカニズム設計、オペレ-ショナルセキュリティ定義の実施、セキュリティソリューション検定、セキュリティプロトコルの把握</p>
システムマネジメント		<p><b>システム運用管理デザイン</b> 必要キャパシティ検証 問題管理、変更管理、回復管理、セキュリティソリューション設計</p>

## スキル熟達度・知識項目

職種:IT アーキテクト

専門分野:アプリケーション

# IT アーキテクトのスキル熟達度・知識項目

職種共通スキル項目	スキル熟達度		知識項目
専門分野: アプリケーション  アーキテクチャ構築	レベル7	ピーク時の要員数 500 人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおける技術チーム責任者として、要件分析、ソリューションアーキテクチャ構築、代替ソリューション分析を行い、アプリケーション領域を中心としたアーキテクチャ構築を成功裡に実施することができる  また当該テーマに関して、学会、テクニカルコミュニティ、講演等で発表することができる	<ul style="list-style-type: none"> <li>- ソリューションアーキテクチャ構築</li> <li>・ビジネス要件分析、定義</li> <li>・ソリューション構造の検討、作成</li>   <li>- 代替ソリューション分析</li> <li>・ビジネス要件分析、定義</li> <li>・代替ソリューションの識別、比較</li> <li>・代替ソリューション構造の検討、作成</li>   <li>- 要件分析</li> <li>・ビジネスゴール、ビジネス目標の把握</li> <li>・ビジネス要件分析、定義、優先順位付け</li> </ul>
	レベル6	ピーク時の要員数 50 人以上 500 人未満で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおける技術チーム責任者として、要件分析、ソリューションアーキテクチャ構築、代替ソリューション分析を行い、アプリケーション領域を中心としたソリューションアーキテクチャ構築を成功裡に実施することができる	
	レベル5	ピーク時の要員数 10 人以上 50 人未満のプロジェクトにおける技術チーム責任者として、要件分析、ソリューションアーキテクチャ構築、代替ソリューション分析を行い、アプリケーション領域を中心としたソリューションアーキテクチャ構築を成功裡に実施することができる	
	レベル4	ピーク時の要員数 10 人未満のプロジェクトにおける技術チームリーダーとして、要件分析、ソリューションアーキテクチャ構築、代替ソリューション分析を行い、アプリケーション領域を中心としたソリューションアーキテクチャ構築を成功裡に実施することができる	
	レベル3	(このレベルのスキル熟達度に関する説明は省略されています)	

# IT アーキテクトのスキル熟達度・知識項目

職種共通スキル項目	スキル熟達度		知識項目
専門分野: アプリケーション  デザイン	レベル7	ピーク時の要員数 500 人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおける技術チーム責任者として、モデリングテクニックの活用、技術検証、IT 標準の適用を行い、アプリケーション領域を中心としたソリューションのデザインを成功裡に実施することができる  また当該テーマに関して、学会、テクニカルコミュニティ、講演等で発表することができる	<ul style="list-style-type: none"> <li>- モデリングテクニック活用</li> <li>・プロトタイプ活用と実践</li> <li>・ベンチマーキング活用と実践</li> <li>・パフォーマンスモデリング活用と実践</li>   <li>- 再利用手法</li> <li>・ソフトウェア部品の利用</li> <li>・先行プロジェクトの成果物利用</li>   <li>- 技術検証</li>   <li>- 規模見積</li>   <li>- IT 標準の適用</li>   <li>- データモデリング、プロセスモデリングの適用</li> </ul>
	レベル6	ピーク時の要員数 50 人以上 500 人未満で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおける技術チーム責任者として、モデリングテクニックの活用、技術検証、IT 標準の適用を行い、アプリケーション領域を中心としたソリューションのデザインを成功裡に実施することができる	
	レベル5	ピーク時の要員数 10 人以上 50 人未満のプロジェクトにおける技術チーム責任者として、モデリングテクニックの活用、技術検証、IT 標準の適用を行い、アプリケーション領域を中心としたソリューションのデザインを成功裡に実施することができる	
	レベル4	ピーク時の要員数 10 人未満のプロジェクトにおける技術チームリーダーとして、モデリングテクニックの活用、技術検証、IT 標準の適用を行い、アプリケーション領域を中心としたソリューションのデザインを成功裡に実施することができる	
	レベル3	(This cell is currently blank in the provided image)	

# IT アーキテクトのスキル熟達度・知識項目

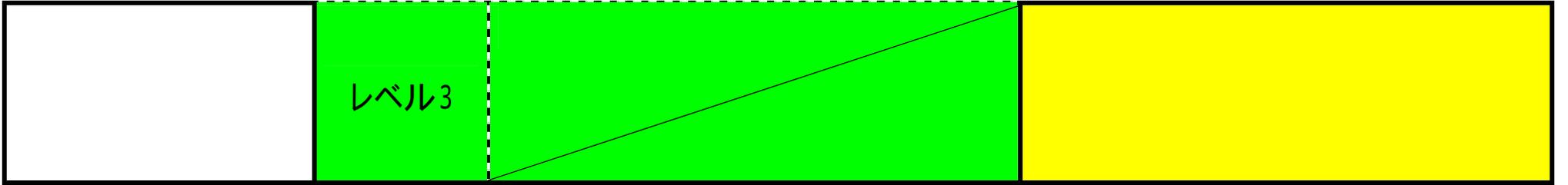
職種共通スキル項目	スキル熟達度		知識項目
専門分野: アプリケーション  テクニカル	レベル7	ピーク時の要員数 500 人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおける技術チーム責任者として、技術動向の把握、技術的問題解決等を行い、アプリケーション領域を中心としたソリューション構築に関する技術的な提言を行うことができる  また当該テーマに関して、学会、テクニカルコミュニティ、講演等で発表することができる	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 技術動向                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・アプリケーションに関する技術動向の把握と提言</li> <li>・データサービス技術動向の基本的把握と提言</li> <li>・ネットワーク技術動向の基本的把握と提言</li> <li>・セキュリティ技術動向の基本的把握と提言</li> <li>・システムサービス技術動向の基本的把握と提言</li> </ul> </li> <li>- プラットフォームとソリューションコンポーネントの比較                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・複数のプラットフォームとコンポーネント間の比較と最適解の決定</li> </ul> </li> <li>- システム運用技術の検証</li> <li>- 技術問題解決</li> </ul>
	レベル6	ピーク時の要員数 50 人以上 500 人未満で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおける技術チーム責任者として、技術動向の把握、技術的問題解決等を行い、アプリケーション領域を中心としたソリューション構築に関する技術的な提言を行うことができる	
	レベル5	ピーク時の要員数 10 人以上 50 人未満のプロジェクトにおける技術チーム責任者として、技術動向の把握、技術的問題解決等を行い、アプリケーション領域を中心としたソリューション構築に関する技術的な提言を行うことができる	
	レベル4	ピーク時の要員数 10 人未満のプロジェクトにおける技術チームリーダーとして、技術動向の把握、技術的問題解決等を行い、アプリケーション領域を中心としたソリューション構築に関する技術的な提言を行うことができる	
	レベル3		

# IT アーキテクトのスキル熟達度・知識項目

職種共通スキル項目	スキル熟達度		知識項目
専門分野: アプリケーション  メソッドロジ	レベル7	ピーク時の要員数 500 人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおける技術チーム責任者として、最適なメソッドロジを選択、適用し、アプリケーション領域を中心としたソリューション構築を成功裡に実施することができる  また当該テーマに関して、学会、テクニカルコミュニティ、講演等で発表することができる	<ul style="list-style-type: none"> <li>- メソッドロジの選択と適用</li> <li>・比較</li> <li>・分析</li> <li>・選定</li> <li>・適用</li>   <li>- 適用業務開発プロセス</li> <li>・ウォーターフォール型、スパイラル型、RAD 型等の最適開発プロセスの検討と適用</li> </ul>
	レベル6	ピーク時の要員数 50 人以上 500 人未満で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおける技術チーム責任者として、最適なメソッドロジを選択、適用し、アプリケーション領域を中心としたソリューション構築を成功裡に実施することができる	
	レベル5	ピーク時の要員数 10 人以上 50 人未満のプロジェクトにおける技術チーム責任者として、最適なメソッドロジを選択、適用し、アプリケーション領域を中心としたソリューション構築を成功裡に実施することができる	
	レベル4	ピーク時の要員数 10 人未満のプロジェクトにおける技術チームリーダーとして、最適なメソッドロジを選択、適用し、アプリケーション領域を中心としたソリューション構築を成功裡に実施することができる	
	レベル3	(This cell is currently empty in the provided image)	

# IT アーキテクトのスキル熟達度・知識項目

職種共通スキル項目	スキル熟達度		知識項目
専門分野: アプリケーション  コンサルティング	レベル7	ピーク時の要員数 500 人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおける技術チーム責任者として、コンサルティング技術を活用し、アプリケーション領域を中心としたソリューション構築を成功裡に実施することができる  また当該テーマに関して、学会、テクニカルコミュニティ、講演等で発表することができる	<ul style="list-style-type: none"> <li>- コンサルティング技術</li> <li>・データ収集</li> <li>・データ分析</li> <li>・仮説設定</li> <li>・検証</li> </ul>
	レベル6	ピーク時の要員数 50 人以上 500 人未満で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおける技術チーム責任者として、コンサルティング技術を活用し、アプリケーション領域を中心としたソリューション構築を成功裡に実施することができる	
	レベル5	ピーク時の要員数 10 人以上 50 人未満のプロジェクトにおける技術チーム責任者として、コンサルティング技術を活用し、アプリケーション領域を中心としたソリューション構築を成功裡に実施することができる	
	レベル4	ピーク時の要員数 10 人未満のプロジェクトにおける技術チームリーダーとして、コンサルティング技術を活用し、アプリケーション領域を中心としたソリューション構築を成功裡に実施することができる	

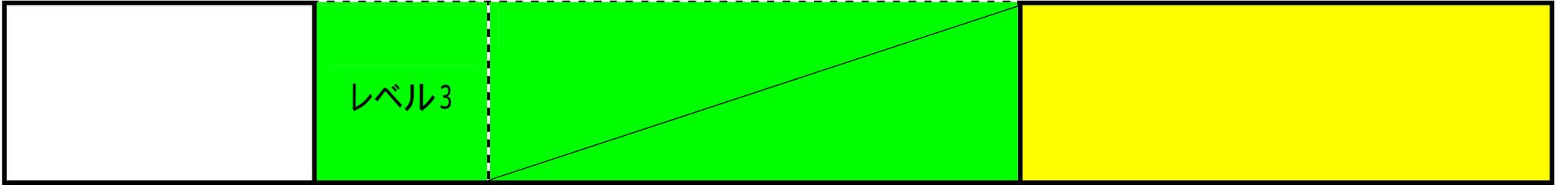


# IT アーキテクトのスキル熟達度・知識項目

職種共通スキル項目	スキル熟達度		知識項目
専門分野: アプリケーション  プロジェクトマネジメン ト	レベル7	ピーク時の要員数 500 人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおける技術チーム責任者として、プロジェクト計画策定、計画実施、変更管理を行い、アプリケーション領域を中心としたソリューション構築を成功裡に実施することができる  また当該テーマに関して、学会、テクニカルコミュニティ、講演等で発表することができる	<ul style="list-style-type: none"> <li>- プロジェクト計画策定</li> <li>・プロジェクト計画メソッドの活用、実践</li>   <li>- プロジェクト計画の実施</li> <li>・一般的な管理スキルの活用、実践</li> <li>・製品スキルと知識の修得と活用</li> <li>・承認プロセスの把握</li> <li>・進捗管理会議運営</li> <li>・組織プロシージャの把握</li>   <li>- 統合変更管理</li> <li>・変更管理</li> <li>・構成管理</li> <li>・プロジェクト進捗評価基準の活用、実践</li>   <li>- ソフトウェアエンジニアリング</li> <li>・アプリケーション開発手法の活用、実践</li> </ul>
	レベル6	ピーク時の要員数 50 人以上 500 人未満で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおける技術チーム責任者として、プロジェクト計画策定、計画実施、変更管理を行い、アプリケーション領域を中心としたソリューション構築を成功裡に実施することができる	
	レベル5	ピーク時の要員数 10 人以上 50 人未満のプロジェクトにおける技術チーム責任者として、プロジェクト計画策定、計画実施、変更管理を行い、アプリケーション領域を中心としたソリューション構築を成功裡に実施することができる	
	レベル4	ピーク時の要員数 10 人未満のプロジェクトにおける技術チームリーダーとして、プロジェクト計画策定、計画実施、変更管理を行い、アプリケーション領域を中心としたソリューション構築を成功裡に実施することができる	
	レベル3	(内容省略)	

# IT アーキテクトのスキル熟達度・知識項目

職種共通スキル項目	スキル熟達度		知識項目
専門分野: アプリケーション インダストリ	レベル7	ピーク時の要員数 500 人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおける技術チーム責任者として、業界に関わる情報、状況を適格に把握し、アプリケーション領域を中心とした業界に最適なソリューションの構築を成功裡に実施することができる  また当該テーマに関して、学会、テクニカルコミュニティ、講演等で発表することができる	<ul style="list-style-type: none"> <li>- インダストリアプリケーション</li> <li>・共通アプリケーション</li> <li>・インダストリ固有アプリケーション</li>   <li>- インダストリビジネス動向、技術動向、競業状況の把握</li>   <li>- インダストリ用語、関連法規の把握と活用</li> </ul>
	レベル6	ピーク時の要員数 50 人以上 500 人未満で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおける技術チーム責任者として、業界に関わる情報、状況を適格に把握し、アプリケーション領域を中心とした業界に最適なソリューションの構築を成功裡に実施することができる	
	レベル5	ピーク時の要員数 10 人以上 50 人未満のプロジェクトにおける技術チーム責任者として、業界に関わる情報、状況を適格に把握し、アプリケーション領域を中心とした業界に最適なソリューションの構築を成功裡に実施することができる	
	レベル4	ピーク時の要員数 10 人未満のプロジェクトにおける技術チームリーダーとして、業界に関わる情報、状況を適格に把握し、アプリケーション領域を中心とした業界に最適なソリューションの構築を成功裡に実施することができる	



# IT アーキテクトのスキル熟達度・知識項目

職種共通スキル項目	スキル熟達度		知識項目
専門分野: アプリケーション  リーダーシップ	レベル7	ピーク時の要員数 500 人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおける技術チーム責任者として、技術チームを指揮または命令し、アプリケーション領域を中心としたソリューション構築を成功裡に実施することができる	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 技術的方向性の設定</li> <li>・リーダーシップの基本や原則の把握、実践</li>   <li>- リーダーシップ（一般）</li> <li>・リーダーシップの基本や原則の把握、実践</li> <li>・チームワークとコミュニケーションの実践</li>   <li>- リーダーシップ（技術チーム内）</li> <li>・目標の設定</li> <li>・IT アーキテクト業務の推進</li> <li>・IT アーキテクト業務の実行</li> <li>・IT アーキテクト業務管理</li> <li>・チームメンバとの連携</li> <li>・チームメンバの動機付けと達成感共有</li>   <li>- リーダーシップ（技術チーム以外）</li> <li>・目標の共有</li> <li>・IT アーキテクト業務の推進</li> <li>・IT アーキテクト業務の実行</li> <li>・協業</li> </ul>
	レベル6	ピーク時の要員数 50 人以上 500 人未満で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおける技術チーム責任者として、技術チームを指揮または命令し、アプリケーション領域を中心としたソリューション構築を成功裡に実施することができる	
	レベル5	ピーク時の要員数 10 人以上 50 人未満のプロジェクトにおける技術チーム責任者として、技術チームを指揮または命令し、アプリケーション領域を中心としたソリューション構築を成功裡に実施することができる	
	レベル4	ピーク時の要員数 10 人未満のプロジェクトにおける技術チームリーダとして、技術チームをリードし、アプリケーション領域を中心としたソリューション構築を成功裡に実施することができる	
	レベル3	(This cell is currently empty in the provided image)	

# IT アーキテクトのスキル熟達度・知識項目

職種共通スキル項目	スキル熟達度		知識項目
専門分野: アプリケーション  コミュニケーション	レベル7	ピーク時の要員数 500 人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおける技術チーム責任者として、経営者層の方々及び技術チームメンバとプロジェクトに関する技術的な意思疎通を図り、コミュニケーションを行うことができる	<ul style="list-style-type: none"> <li>- コミュニケーション (2way)</li> <li>・対話、インタビューの実施</li> <li>・意思疎通</li> <li>・コミュニケーション手法の活用、実践</li> <li>・効果的な話し方、聞き方の活用、実践</li>   <li>- コミュニケーション (情報伝達)</li> <li>・プレゼンテーション技術の活用、実践</li> <li>・公式、非公式文書の作成</li> <li>・文書表現、表現技法の活用、実践</li> <li>・メディア選択</li> <li>・説得技法の活用、実践</li>   <li>- コミュニケーション (情報の処理)</li> <li>・状況対応能力の育成、実践</li> <li>・状況理解力の活用、実践</li> <li>・ミーティング運営技術の活用、実践</li> </ul>
	レベル6	ピーク時の要員数 50 人以上 500 人未満で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおける技術チーム責任者として、事業部長相当または部長相当以上の方々及び技術チームメンバとプロジェクトに関する技術的な意思疎通を図り、コミュニケーションを行うことができる	
	レベル5	ピーク時の要員数 10 人以上 50 人未満のプロジェクトにおける技術チーム責任者として、部長相当以上の方々及び技術チームメンバとプロジェクトに関する技術的な意思疎通を図り、コミュニケーションを行うことができる	
	レベル4	ピーク時の要員数 10 人未満のプロジェクトにおける技術チームリーダーとして、技術チームメンバとの技術的なチームコミュニケーションを図り、プロジェクトを遂行することができる	
	レベル3	(このレベルのスキル熟達度に関する説明は、元の画像からは読み取れない)	

# IT アーキテクトのスキル熟達度・知識項目

職種共通スキル項目	スキル熟達度		知識項目
専門分野: アプリケーション ネゴシエーション	レベル7	ピーク時の要員数 500 人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおける技術チーム責任者として、経営者層の方々及び技術チームメンバとプロジェクトに関する技術的かつ複雑なネゴシエーションをリードすることができる	<ul style="list-style-type: none"> <li>- ネゴシエーション</li> <li>・交渉プロセスの把握、実践</li> <li>・効果的な交渉技法の活用、実践</li> <li>・信頼関係の確立</li> <li>・目標の設定</li> <li>・共通利益</li> <li>・論理的思考の実施</li> <li>・問題解決手法の活用、実践</li> </ul>
	レベル6	ピーク時の要員数 50 人以上 500 人未満で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおける技術チーム責任者として、事業部長相当または部長相当以上の方々及び技術チームメンバとプロジェクトに関する技術的なネゴシエーションを行い同意を得ることができる	
	レベル5	ピーク時の要員数 10 人以上 50 人未満のプロジェクトにおける技術チーム責任者として、部長相当以上の方々及び技術チームメンバとプロジェクトに関する技術的なネゴシエーションを行うことができる	
	レベル4	ピーク時の要員数 10 人未満のプロジェクトにおける技術チームリーダとして、技術チームメンバとのチームコミュニケーションを図り、プロジェクトに関する技術的なネゴシエーションを行うことができる	
	レベル3	(This cell is currently blank in the provided image)	

# IT アーキテクトのスキル熟達度・知識項目

専門分野固有スキル項目	スキル熟達度		知識項目
専門分野: アプリケーション  アプリケーション機能 デザイン	レベル7	ピーク時の要員数 500 人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおける技術チーム責任者として、アプリケーション開発メソッドロジ及び各種ツールを選択、活用し、ソリューションのアプリケーション機能デザインを実施することができる  また当該テーマに関して、学会、テクニカルコミュニティ、講演等で発表することができる	<ul style="list-style-type: none"> <li>- アプリケーション開発メソッドロジ</li> <li>・最適メソッドロジ選択と活用</li> <li>・適用ガイダンスの作成</li> <li>・標準化の実施</li> <li>- アプリケーションデザイン</li> <li>・機能、入出力、新業務フローデザイン</li> <li>- ツールの選択と活用</li> <li>・開発言語ツールの選択と活用</li> <li>・アプリケーション開発ツールの選択と活用</li> <li>・ライブラリ管理ツールの選択と活用</li> <li>- テストの計画と実施</li> <li>・テスト計画の策定</li> <li>・テスト技法の選択</li> <li>・テスト技法ガイダンスの作成</li> <li>・テスト環境ツール選択</li> <li>- インダストリ環境</li> <li>・業界別事業環境の把握と活用</li> <li>・業界別規制状況/慣習の把握と活用</li> <li>- インダストリ業務内容</li> <li>・業界別固有業務内容/特性の把握と活用</li> <li>- インダストリ最新動向</li> <li>・業界別最新動向の把握と活用</li> <li>・業界別システム導入事例の把握と活用</li> <li>- インダストリアプリケーション設計</li> <li>・最適プラットフォーム選定</li> <li>・インダストリアプリケーションデザインの実践</li> </ul>
	レベル6	ピーク時の要員数 50 人以上 500 人未満で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおける技術チーム責任者として、アプリケーション開発メソッドロジ及び各種ツールを選択、活用し、ソリューションのアプリケーション機能デザインを実施することができる	
	レベル5	ピーク時の要員数 10 人以上 50 人未満のプロジェクトにおける技術チーム責任者として、アプリケーション開発メソッドロジ及び各種ツールを選択、活用し、ソリューションのアプリケーション機能デザインを実施することができる	
	レベル4	ピーク時の要員数 10 人未満のプロジェクトにおける技術チームリーダーとして、アプリケーション開発メソッドロジ及び各種ツールを選択、活用し、ソリューションのアプリケーション機能デザインを実施することができる	
	レベル3	(このレベルのスキル熟達度に関する詳細な説明は、元の画像からは読み取れませんでした)	

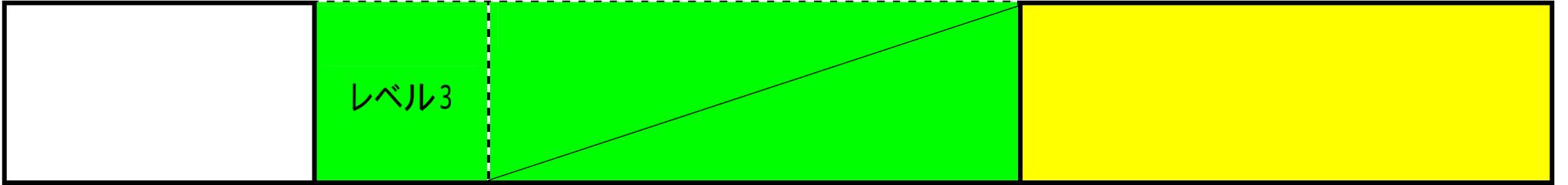
## スキル熟達度・知識項目

職種:IT アーキテクト

専門分野:データサービス

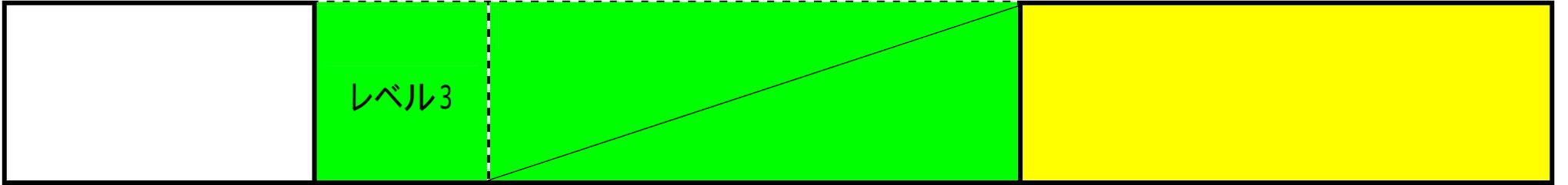
# IT アーキテクトのスキル熟達度・知識項目

職種共通スキル項目	スキル熟達度		知識項目
専門分野: データサービス  アーキテクチャ構築	レベル7	ピーク時の要員数 500 人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおける技術チーム責任者として、要件分析、ソリューションアーキテクチャ構築、代替ソリューション分析を行い、データサービス領域を中心としたアーキテクチャ構築を成功裡に実施することができる  また当該テーマに関して、学会、テクニカルコミュニティ、講演等で発表することができる	<ul style="list-style-type: none"> <li>- ソリューションアーキテクチャ構築</li> <li>・ビジネス要件分析、定義</li> <li>・ソリューション構造の検討、作成</li>   <li>- 代替ソリューション分析</li> <li>・ビジネス要件分析、定義</li> <li>・代替ソリューションの識別、比較</li> <li>・代替ソリューション構造の検討、作成</li>   <li>- 要件分析</li> <li>・ビジネスゴール、ビジネス目標の把握</li> <li>・ビジネス要件分析、定義、優先順位付け</li> </ul>
	レベル6	ピーク時の要員数 50 人以上 500 人未満で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおける技術チーム責任者として、要件分析、ソリューションアーキテクチャ構築、代替ソリューション分析を行い、データサービス領域を中心としたソリューションアーキテクチャ構築を成功裡に実施することができる	
	レベル5	ピーク時の要員数 10 人以上 50 人未満のプロジェクトにおける技術チーム責任者として、要件分析、ソリューションアーキテクチャ構築、代替ソリューション分析を行い、データサービス領域を中心としたソリューションアーキテクチャ構築を成功裡に実施することができる	
	レベル4	(このレベルのスキル熟達度と知識項目は、この表からは省略されています)	

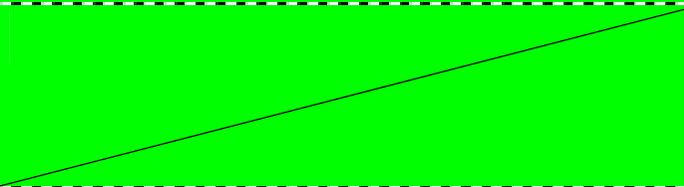


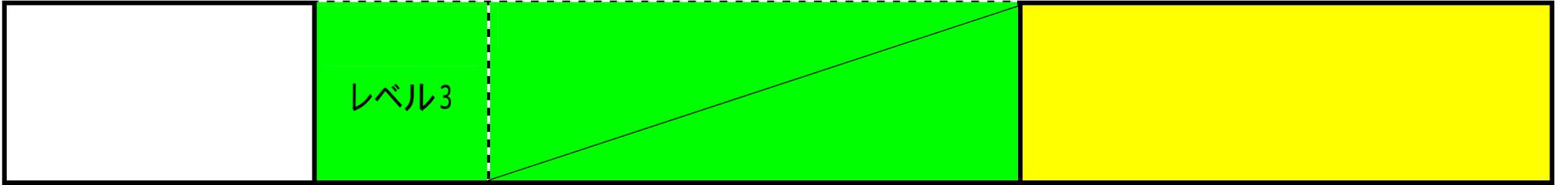
# IT アーキテクトのスキル熟達度・知識項目

職種共通スキル項目	スキル熟達度		知識項目
専門分野: データサービス  デザイン	レベル7	ピーク時の要員数 500 人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおける技術チーム責任者として、モデリングテクニックの活用、技術検証、IT 標準の適用を行い、データサービス領域を中心としたソリューションのデザインを成功裡に実施することができる  また当該テーマに関して、学会、テクニカルコミュニティ、講演等で発表することができる	<ul style="list-style-type: none"> <li>- モデリングテクニック活用</li> <li>・プロトタイプ活用と実践</li> <li>・ベンチマーキング活用と実践</li> <li>・パフォーマンスモデリング活用と実践</li>   <li>- 再利用手法</li> <li>・ソフトウェア部品の利用</li> <li>・先行プロジェクトの成果物利用</li>   <li>- 技術検証</li>   <li>- 規模見積</li>   <li>- IT 標準の適用</li>   <li>- データモデリング、プロセスモデリングの適用</li> </ul>
	レベル6	ピーク時の要員数 50 人以上 500 人未満で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおける技術チーム責任者として、モデリングテクニックの活用、技術検証、IT 標準の適用を行い、データサービス領域を中心としたソリューションのデザインを成功裡に実施することができる	
	レベル5	ピーク時の要員数 10 人以上 50 人未満のプロジェクトにおける技術チーム責任者として、モデリングテクニックの活用、技術検証、IT 標準の適用を行い、データサービス領域を中心としたソリューションのデザインを成功裡に実施することができる	
	レベル4	(内容未定)	



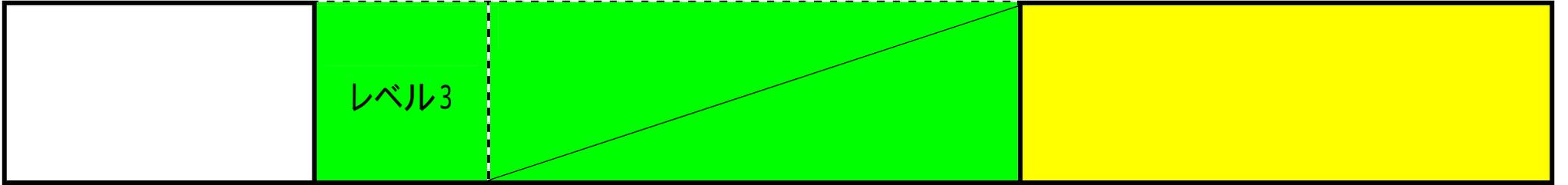
# IT アーキテクトのスキル熟達度・知識項目

職種共通スキル項目	スキル熟達度		知識項目
専門分野: データサービス  テクニカル	レベル7	ピーク時の要員数 500 人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおける技術チーム責任者として、技術動向の把握、技術的問題解決等を行い、データサービス領域を中心としたソリューション構築に関する技術的な提言を行うことができる  また当該テーマに関して、学会、テクニカルコミュニティ、講演等で発表することができる	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 技術動向</li> <li>・アプリケーションに関する技術動向の把握と提言</li> <li>・データサービス技術動向の基本的把握と提言</li> <li>・ネットワーク技術動向の基本的把握と提言</li> <li>・セキュリティ技術動向の基本的把握と提言</li> <li>・システムサービス技術動向の基本的把握と提言</li>   <li>- プラットフォームとソリューションコンポーネントの比較</li> <li>・複数のプラットフォームとコンポーネント間の比較と最適解の決定</li>   <li>- システム運用技術の検証</li>   <li>- 技術問題解決</li> </ul>
	レベル6	ピーク時の要員数 50 人以上 500 人未満で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおける技術チーム責任者として、技術動向の把握、技術的問題解決等を行い、データサービス領域を中心としたソリューション構築に関する技術的な提言を行うことができる	
	レベル5	ピーク時の要員数 10 人以上 50 人未満のプロジェクトにおける技術チーム責任者として、技術動向の把握、技術的問題解決等を行い、データサービス領域を中心としたソリューション構築に関する技術的な提言を行うことができる	
	レベル4		



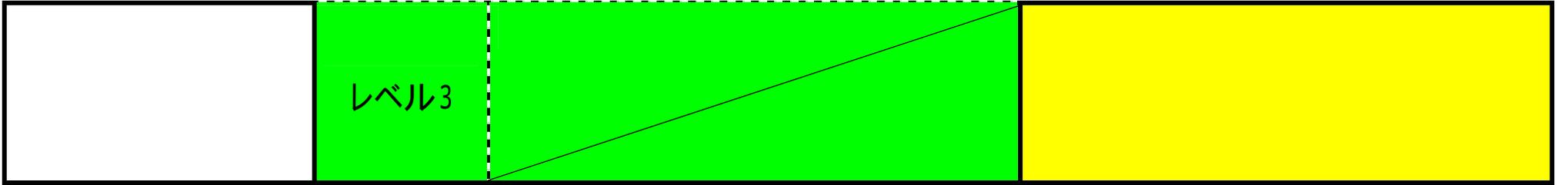
# IT アーキテクトのスキル熟達度・知識項目

職種共通スキル項目	スキル熟達度		知識項目
専門分野: データサービス  メソッドロジ	レベル7	ピーク時の要員数 500 人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおける技術チーム責任者として、最適なメソッドロジを選択、適用し、データサービス領域を中心としたソリューション構築を成功裡に実施することができる  また当該テーマに関して、学会、テクニカルコミュニティ、講演等で発表することができる	<ul style="list-style-type: none"> <li>- メソッドロジの選択と適用</li> <li>・比較</li> <li>・分析</li> <li>・選定</li> <li>・適用</li>   <li>- 適用業務開発プロセス</li> <li>・ウォーターフォール型、スパイラル型、RAD 型等の最適開発プロセスの検討と適用</li> </ul>
	レベル6	ピーク時の要員数 50 人以上 500 人未満で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおける技術チーム責任者として、最適なメソッドロジを選択、適用し、データサービス領域を中心としたソリューション構築を成功裡に実施することができる	
	レベル5	ピーク時の要員数 10 人以上 50 人未満のプロジェクトにおける技術チーム責任者として、最適なメソッドロジを選択、適用し、データサービス領域を中心としたソリューション構築を成功裡に実施することができる	
	レベル4	(This cell is currently empty in the provided image)	



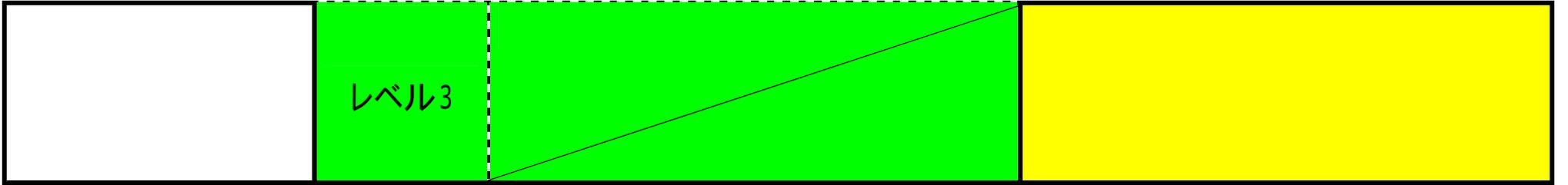
# IT アーキテクトのスキル熟達度・知識項目

職種共通スキル項目	スキル熟達度		知識項目
専門分野: データサービス  コンサルティング	レベル7	ピーク時の要員数 500 人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおける技術チーム責任者として、コンサルティング技術を活用し、データサービス領域を中心としたソリューション構築を成功裡に実施することができる  また当該テーマに関して、学会、テクニカルコミュニティ、講演等で発表することができる	<ul style="list-style-type: none"> <li>- コンサルティング技術</li> <li>・データ収集</li> <li>・データ分析</li> <li>・仮説設定</li> <li>・検証</li> </ul>
	レベル6	ピーク時の要員数 50 人以上 500 人未満で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおける技術チーム責任者として、コンサルティング技術を活用し、データサービス領域を中心としたソリューション構築を成功裡に実施することができる	
	レベル5	ピーク時の要員数 10 人以上 50 人未満のプロジェクトにおける技術チーム責任者として、コンサルティング技術を活用し、データサービス領域を中心としたソリューション構築を成功裡に実施することができる	
	レベル4	(This cell is currently empty in the provided image)	



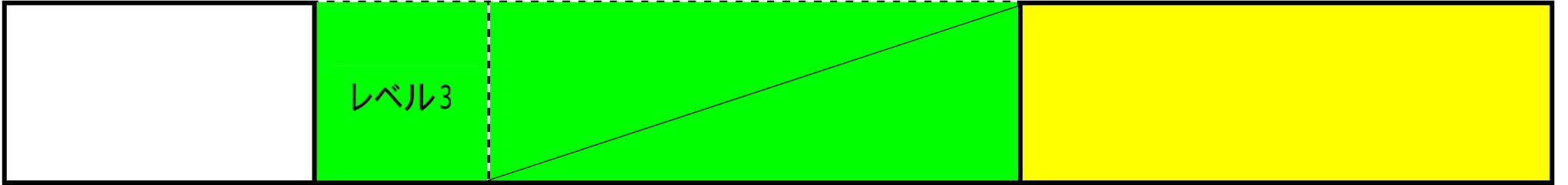
# IT アーキテクトのスキル熟達度・知識項目

職種共通スキル項目	スキル熟達度		知識項目
専門分野: データサービス  プロジェクトマネジメン ト	レベル7	ピーク時の要員数 500 人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおける技術チーム責任者として、プロジェクト計画策定、計画実施、変更管理を行い、データサービス領域を中心としたソリューション構築を成功裡に実施することができる  また当該テーマに関して、学会、テクニカルコミュニティ、講演等で発表することができる	<ul style="list-style-type: none"> <li>- プロジェクト計画策定</li> <li>・プロジェクト計画メソッドの活用、実践</li>   <li>- プロジェクト計画の実施</li> <li>・一般的な管理スキルの活用、実践</li> <li>・製品スキルと知識の修得と活用</li> <li>・承認プロセスの把握</li> <li>・進捗管理会議運営</li> <li>・組織プロシージャの把握</li>   <li>- 統合変更管理</li> <li>・変更管理</li> <li>・構成管理</li> <li>・プロジェクト進捗評価基準の活用、実践</li>   <li>- ソフトウェアエンジニアリング</li> <li>・アプリケーション開発手法の活用、実践</li> </ul>
	レベル6	ピーク時の要員数 50 人以上 500 人未満で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおける技術チーム責任者として、プロジェクト計画策定、計画実施、変更管理を行い、データサービス領域を中心としたソリューション構築を成功裡に実施することができる	
	レベル5	ピーク時の要員数 10 人以上 50 人未満のプロジェクトにおける技術チーム責任者として、プロジェクト計画策定、計画実施、変更管理を行い、データサービス領域を中心としたソリューション構築を成功裡に実施することができる	
	レベル4	(内容未定)	



# IT アーキテクトのスキル熟達度・知識項目

職種共通スキル項目	スキル熟達度		知識項目
専門分野: データサービス インダストリ	レベル7	ピーク時の要員数 500 人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおける技術チーム責任者として、業界に関わる情報、状況を適格に把握し、データサービス領域を中心とした業界に最適なソリューションの構築を成功裡に実施することができる  また当該テーマに関して、学会、テクニカルコミュニティ、講演等で発表することができる	<ul style="list-style-type: none"> <li>- インダストリアプリケーション</li> <li>・共通アプリケーション</li> <li>・インダストリ固有アプリケーション</li>   <li>- インダストリビジネス動向、技術動向、競業状況の把握</li>   <li>- インダストリ用語、関連法規の把握と活用</li> </ul>
	レベル6	ピーク時の要員数 50 人以上 500 人未満で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおける技術チーム責任者として、業界に関わる情報、状況を適格に把握し、データサービス領域を中心とした業界に最適なソリューションの構築を成功裡に実施することができる	
	レベル5	ピーク時の要員数 10 人以上 50 人未満のプロジェクトにおける技術チーム責任者として、業界に関わる情報、状況を適格に把握し、データサービス領域を中心とした業界に最適なソリューションの構築を成功裡に実施することができる	
	レベル4	(内容省略)	



# IT アーキテクトのスキル熟達度・知識項目

職種共通スキル項目	スキル熟達度		知識項目
専門分野: データサービス  リーダーシップ	レベル7	ピーク時の要員数 500 人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおける技術チーム責任者として、技術チームを指揮または命令し、データサービス領域を中心としたソリューション構築を成功裡に実施することができる	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 技術的方向性の設定</li> <li>・リーダーシップの基本や原則の把握、実践</li>   <li>- リーダーシップ (一般)</li> <li>・リーダーシップの基本や原則の把握、実践</li> <li>・チームワークとコミュニケーションの実践</li>   <li>- リーダーシップ (技術チーム内)</li> <li>・目標の設定</li> <li>・IT アーキテクト業務の推進</li> <li>・IT アーキテクト業務の実行</li> <li>・IT アーキテクト業務管理</li> <li>・チームメンバとの連携</li> <li>・チームメンバの動機付けと達成感共有</li>   <li>- リーダーシップ (技術チーム以外)</li> <li>・目標の共有</li> <li>・IT アーキテクト業務の推進</li> <li>・IT アーキテクト業務の実行</li> <li>・協業</li> </ul>
	レベル6	ピーク時の要員数 50 人以上 500 人未満で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおける技術チーム責任者として、技術チームを指揮または命令し、データサービス領域を中心としたソリューション構築を成功裡に実施することができる	
	レベル5	ピーク時の要員数 10 人以上 50 人未満のプロジェクトにおける技術チーム責任者として、技術チームを指揮または命令し、データサービス領域を中心としたソリューション構築を成功裡に実施することができる	
	レベル4		
	レベル3		

# IT アーキテクトのスキル熟達度・知識項目

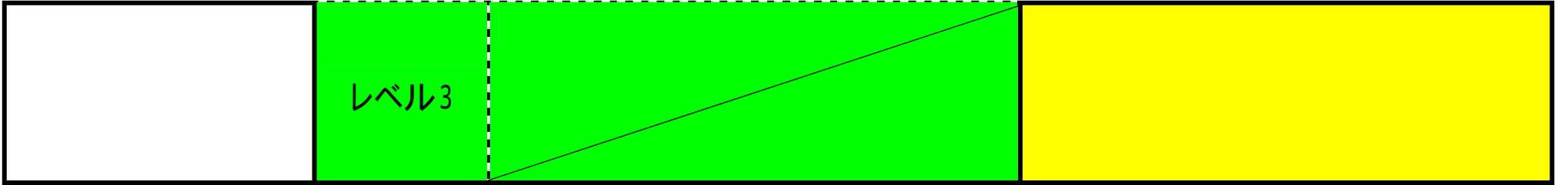
職種共通スキル項目	スキル熟達度		知識項目
専門分野: データサービス  コミュニケーション	レベル7	ピーク時の要員数 500 人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおける技術チーム責任者として、経営者層の方々及び技術チームメンバとプロジェクトに関する技術的な意思疎通を図り、コミュニケーションを行うことができる	<ul style="list-style-type: none"> <li>- コミュニケーション (2way)</li> <li>・対話、インタビューの実施</li> <li>・意思疎通</li> <li>・コミュニケーション手法の活用、実践</li> <li>・効果的な話し方、聞き方の活用、実践</li>   <li>- コミュニケーション (情報伝達)</li> <li>・プレゼンテーション技術の活用、実践</li> <li>・公式、非公式文書の作成</li> <li>・文書表現、表現技法の活用、実践</li> <li>・メディア選択</li> <li>・説得技法の活用、実践</li>   <li>- コミュニケーション (情報の処理)</li> <li>・状況対応能力の育成、実践</li> <li>・状況理解力の活用、実践</li> <li>・ミーティング運営技術の活用、実践</li> </ul>
	レベル6	ピーク時の要員数 50 人以上 500 人未満で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおける技術チーム責任者として、事業部長相当または部長相当以上の方々及び技術チームメンバとプロジェクトに関する技術的な意思疎通を図り、コミュニケーションを行うことができる	
	レベル5	ピーク時の要員数 10 人以上 50 人未満のプロジェクトにおける技術チーム責任者として、部長相当以上の方々及び技術チームメンバとプロジェクトに関する技術的な意思疎通を図り、コミュニケーションを行うことができる	
	レベル4	(スキル熟達度内容未定)	
	レベル3	(スキル熟達度内容未定)	

# IT アーキテクトのスキル熟達度・知識項目

職種共通スキル項目	スキル熟達度		知識項目
専門分野: データサービス  ネゴシエーション	レベル7	ピーク時の要員数 500 人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおける技術チーム責任者として、経営者層の方々及び技術チームメンバとプロジェクトに関する技術的かつ複雑なネゴシエーションをリードすることができる	<ul style="list-style-type: none"> <li>- ネゴシエーション</li> <li>・交渉プロセスの把握、実践</li> <li>・効果的な交渉技法の活用、実践</li> <li>・信頼関係の確立</li> <li>・目標の設定</li> <li>・共通利益</li> <li>・論理的思考の実施</li> <li>・問題解決手法の活用、実践</li> </ul>
	レベル6	ピーク時の要員数 50 人以上 500 人未満で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおける技術チーム責任者として、事業部長相当または部長相当以上の方々及び技術チームメンバとプロジェクトに関する技術的なネゴシエーションを行い同意を得ることができる	
	レベル5	ピーク時の要員数 10 人以上 500 人未満のプロジェクトにおける技術チーム責任者として、部長相当以上の方々及び技術チームメンバとプロジェクトに関する技術的なネゴシエーションを行うことができる	
	レベル4	(内容省略)	
	レベル3	(内容省略)	

# IT アーキテクトのスキル熟達度・知識項目

専門分野固有スキル項目	スキル熟達度		知識項目
専門分野: データサービス  データ構成要素デザイン	レベル7	ピーク時の要員数 500 人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおける技術チーム責任者として、データ構造設計手法、データモデリング技術及びツール等を選択、活用し、データ構成要素を実施することができる  また当該テーマに関して、学会、テクニカルコミュニティ、講演等で発表することができる	<ul style="list-style-type: none"> <li>- データ構造設計手法</li> <li>- データモデリング                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・データモデリング技術の適用</li> <li>・データモデリングツールの選択と活用</li> </ul> </li> <li>- データの物理環境設計</li> <li>- データキャパシティプランの作成</li> <li>- ストレージ管理</li> <li>- データベースパフォーマンス管理</li> </ul>
	レベル6	ピーク時の要員数 50 人以上 500 人未満で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおける技術チーム責任者として、データ構造設計手法、データモデリング技術及びツール等を選択、活用し、データ構成要素を実施することができる	
	レベル5	ピーク時の要員数 10 人以上 50 人未満のプロジェクトにおける技術チーム責任者として、データ構造設計手法、データモデリング技術及びツール等を選択、活用し、データ構成要素を実施することができる	
	レベル4	(This cell is currently empty in the provided image)	



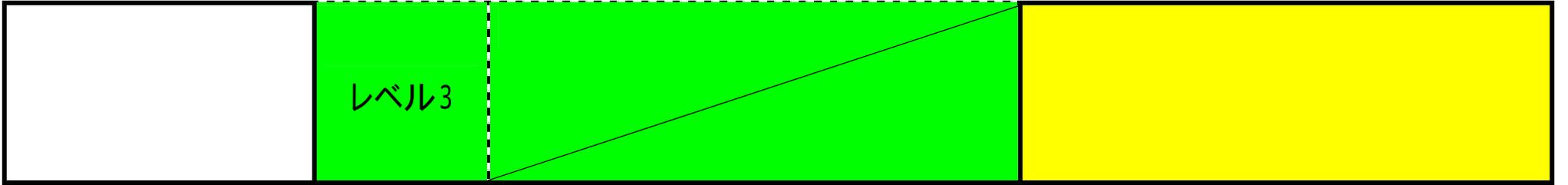
## スキル熟達度・知識項目

職種:IT アーキテクト

専門分野:ネットワーク

# IT アーキテクトのスキル熟達度・知識項目

職種共通スキル項目	スキル熟達度		知識項目
専門分野: ネットワーク  アーキテクチャ構築	レベル7		<ul style="list-style-type: none"> <li>- ソリューションアーキテクチャ構築</li> <li>・ビジネス要件分析、定義</li> <li>・ソリューション構造の検討、作成</li>   <li>- 代替ソリューション分析</li> <li>・ビジネス要件分析、定義</li> <li>・代替ソリューションの識別、比較</li> <li>・代替ソリューション構造の検討、作成</li>   <li>- 要件分析</li> <li>・ビジネスゴール、ビジネス目標の把握</li> <li>・ビジネス要件分析、定義、優先順位付け</li> </ul>
	レベル6	ピーク時の要員数 50 人以上、または 300 拠点以上の大規模ネットワークで、複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおける技術チーム責任者として、要件分析、ソリューションアーキテクチャ構築、代替ソリューション分析を行い、ネットワーク領域を中心としたソリューションアーキテクチャ構築を成功裡に実施することができる	
	レベル5	ピーク時の要員数 10 人以上 50 人未満、または 100 拠点以上 300 拠点未満の中規模ネットワークプロジェクトにおける技術チーム責任者として、要件分析、ソリューションアーキテクチャ構築、代替ソリューション分析を行い、ネットワーク領域を中心としたソリューションアーキテクチャ構築を成功裡に実施することができる	
	レベル4		



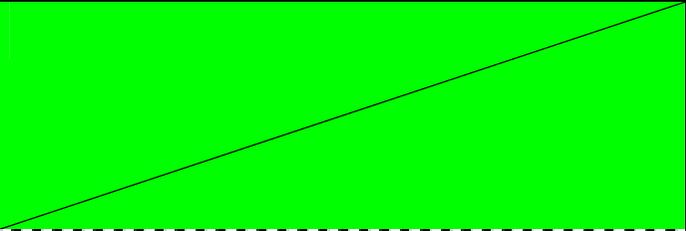
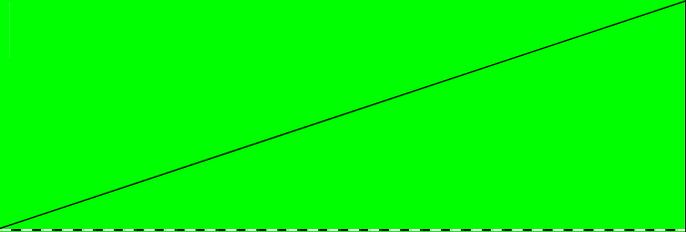
# IT アーキテクトのスキル熟達度・知識項目

職種共通スキル項目	スキル熟達度		知識項目	
専門分野: ネットワーク  デザイン	レベル7		<ul style="list-style-type: none"> <li>- モデリングテクニック活用</li> <li>・プロトタイピング活用と実践</li> <li>・ベンチマーキング活用と実践</li> <li>・パフォーマンスモデリング活用と実践</li>   <li>- 再利用手法</li> <li>・ソフトウェア部品の利用</li> <li>・先行プロジェクトの成果物利用</li>   <li>- 技術検証</li>   <li>- 規模見積</li>   <li>- IT 標準の適用</li>   <li>- データモデリング、プロセスモデリングの適用</li> </ul>	
	レベル6			ピーク時の要員数 50 人以上、または 300 拠点以上の大規模ネットワークで、複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおける技術チーム責任者として、モデリングテクニックの活用、技術検証、IT 標準の適用を行い、ネットワーク領域を中心としたソリューションのデザインを成功裡に実施することができる
	レベル5			ピーク時の要員数 10 人以上 50 人未満、または 100 拠点以上 300 拠点未満の中規模ネットワークプロジェクトにおける技術チーム責任者として、モデリングテクニックの活用、技術検証、IT 標準の適用を行い、ネットワーク領域を中心としたソリューションのデザインを成功裡に実施することができる
	レベル4			
	レベル3			

# IT アーキテクトのスキル熟達度・知識項目

職種共通スキル項目	スキル熟達度		知識項目
専門分野: ネットワーク  テクニカル	レベル7		<ul style="list-style-type: none"> <li>- 技術動向</li> <li>・アプリケーションに関する技術動向の把握と提言</li> <li>・データサービス技術動向の基本的把握と提言</li> <li>・ネットワーク技術動向の基本的把握と提言</li> <li>・セキュリティ技術動向の基本的把握と提言</li> <li>・システムサービス技術動向の基本的把握と提言</li>   <li>- プラットフォームとソリューションコンポーネントの比較</li> <li>・複数のプラットフォームとコンポーネント間の比較と最適解の決定</li>   <li>- システム運用技術の検証</li>   <li>- 技術問題解決</li> </ul>
	レベル6	ピーク時の要員数 50 人以上、または 300 拠点以上の大規模ネットワークで、複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおける技術チーム責任者として、技術動向の把握、技術的問題解決等を行い、ネットワーク領域を中心としたソリューション構築に関する技術的な提言を行うことができる	
	レベル5	ピーク時の要員数 10 人以上 50 人未満、または 100 拠点以上 300 拠点未満の中規模ネットワークプロジェクトにおける技術チーム責任者として、技術動向の把握、技術的問題解決等を行い、ネットワーク領域を中心としたソリューション構築に関する技術的な提言を行うことができる	
	レベル4		
	レベル3		

# IT アーキテクトのスキル熟達度・知識項目

職種共通スキル項目	スキル熟達度		知識項目
専門分野: ネットワーク  メソドロジ	レベル7		<ul style="list-style-type: none"> <li>- メソドロジの選択と適用</li> <li>・比較</li> <li>・分析</li> <li>・選定</li> <li>・適用</li>   <li>- 適用業務開発プロセス</li> <li>・ウォーターフォール型、スパイラル型、RAD 型等の最適開発プロセスの検討と適用</li> </ul>
	レベル6		
	レベル5	ピーク時の要員数 10 人以上 50 人未満、または 100 拠点以上 300 拠点未満の中規模ネットワークプロジェクトにおける技術チーム責任者として、最適なメソドロジを選択、適用し、ネットワーク領域を中心としたソリューション構築を成功裡に実施することができる	
	レベル4		
	レベル3		

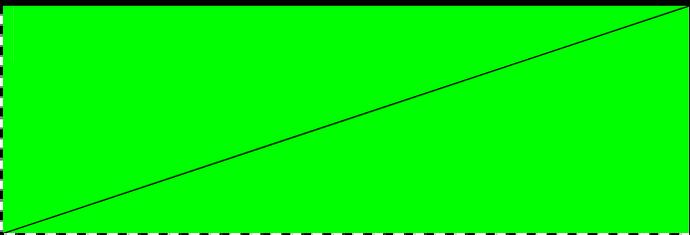
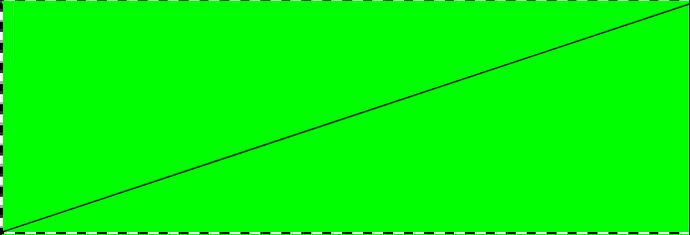
# IT アーキテクトのスキル熟達度・知識項目

職種共通スキル項目	スキル熟達度		知識項目
専門分野: ネットワーク  コンサルティング	レベル7	ピーク時の要員数 50 人以上、または 300 拠点以上の大規模ネットワークで、複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおける技術チーム責任者として、コンサルティング技術を活用し、ネットワーク領域を中心としたソリューション構築を成功裡に実施することができる	<ul style="list-style-type: none"> <li>- コンサルティング技術</li> <li>・データ収集</li> <li>・データ分析</li> <li>・仮説設定</li> <li>・検証</li> </ul>
	レベル6		
	レベル5	ピーク時の要員数 10 人以上 50 人未満、または 100 拠点以上 300 拠点未満の中規模ネットワークプロジェクトにおける技術チーム責任者として、コンサルティング技術を活用し、ネットワーク領域を中心としたソリューション構築を成功裡に実施することができる	
	レベル4		
	レベル3		

# IT アーキテクトのスキル熟達度・知識項目

職種共通スキル項目	スキル熟達度		知識項目
専門分野: ネットワーク  プロジェクトマネジメン ト	レベル7	ピーク時の要員数 50 人以上、または 300 拠点以上の大規模ネットワークで、複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおける技術チーム責任者として、プロジェクト計画策定、計画実施、変更管理を行い、ネットワーク領域を中心としたソリューション構築を成功裡に実施することができる	<ul style="list-style-type: none"> <li>- プロジェクト計画策定</li> <li>・プロジェクト計画メソドロジの活用、実践</li>   <li>- プロジェクト計画の実施</li> <li>・一般的な管理スキルの活用、実践</li> <li>・製品スキルと知識の修得と活用</li> <li>・承認プロセスの把握</li> <li>・進捗管理会議運営</li> <li>・組織プロシージャの把握</li>   <li>- 統合変更管理</li> <li>・変更管理</li> <li>・構成管理</li> <li>・プロジェクト進捗評価基準の活用、実践</li>   <li>- ソフトウェアエンジニアリング</li> <li>・アプリケーション開発手法の活用、実践</li> <li>・アプリケーション開発メソドロジの活用、実践</li> </ul>
	レベル6		
	レベル5	ピーク時の要員数 10 人以上 50 人未満、または 100 拠点以上 300 拠点未満の中規模ネットワークプロジェクトにおける技術チーム責任者として、プロジェクト計画策定、計画実施、変更管理を行い、ネットワーク領域を中心としたソリューション構築を成功裡に実施することができる	
	レベル4		
	レベル3		

# IT アーキテクトのスキル熟達度・知識項目

職種共通スキル項目	スキル熟達度		知識項目
専門分野: ネットワーク インダストリ	レベル7		<ul style="list-style-type: none"> <li>- インダストリアプリケーション</li> <li>・共通アプリケーション</li> <li>・インダストリ固有アプリケーション</li>   <li>- インダストリビジネス動向、技術動向、競業状況の把握</li>   <li>- インダストリ用語、関連法規の把握と活用</li> </ul>
	レベル6		
	レベル5	ピーク時の要員数 10 人以上 50 人未満、または 100 拠点以上 300 拠点未満の中規模ネットワークプロジェクトにおける技術チーム責任者として、業界に関わる情報、状況を適格に把握し、ネットワーク領域を中心とした業界に最適なソリューションの構築を成功裡に実施することができる	
	レベル4		
	レベル3		

# IT アーキテクトのスキル熟達度・知識項目

職種共通スキル項目	スキル熟達度		知識項目
専門分野: ネットワーク  リーダーシップ	レベル7		<ul style="list-style-type: none"> <li>- 技術的方向性の設定</li> <li>・リーダーシップの基本や原則の把握、実践</li>   <li>- リーダーシップ (一般)</li> <li>・リーダーシップの基本や原則の把握、実践</li> <li>・チームワークとコミュニケーションの実践</li>   <li>- リーダーシップ (技術チーム内)</li> <li>・目標の設定</li> <li>・IT アーキテクト業務の推進</li> <li>・IT アーキテクト業務の実行</li> <li>・IT アーキテクト業務管理</li> <li>・チームメンバとの連携</li> <li>・チームメンバの動機付けと達成感共有</li>   <li>- リーダーシップ (技術チーム以外)</li> <li>・目標の共有</li> <li>・IT アーキテクト業務の推進</li> <li>・IT アーキテクト業務の実行</li> <li>・協業</li> </ul>
	レベル6	ピーク時の要員数 50 人以上、または 300 拠点以上の大規模ネットワークで、複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおける技術チーム責任者として、技術チームを指揮または命令し、ネットワーク領域を中心としたソリューション構築を成功裡に実施することができる	
	レベル5	ピーク時の要員数 10 人以上 50 人未満、または 100 拠点以上 300 拠点未満の中規模ネットワークプロジェクトにおける技術チーム責任者として、技術チームを指揮または命令し、ネットワーク領域を中心としたソリューション構築を成功裡に実施することができる	
	レベル4		
	レベル3		

# IT アーキテクトのスキル熟達度・知識項目

職種共通スキル項目	スキル熟達度		知識項目
専門分野: ネットワーク  コミュニケーション	レベル7	ピーク時の要員数 50 人以上、または 300 拠点以上の大規模ネットワークで、複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおける技術チーム責任者として、事業部長相当または部長相当以上の方々及び技術チームメンバとプロジェクトに関する技術的な意思疎通を図り、コミュニケーションを行うことができる	<ul style="list-style-type: none"> <li>- コミュニケーション (2way)</li> <li>・対話、インタビューの実施</li> <li>・意思疎通</li> <li>・コミュニケーション手法の活用、実践</li> <li>・効果的な話し方、聞き方の活用、実践</li>   <li>- コミュニケーション (情報伝達)</li> <li>・プレゼンテーション技術の活用、実践</li> <li>・公式、非公式文書の作成</li> <li>・文書表現、表現技法の活用、実践</li> <li>・メディア選択</li> <li>・説得技法の活用、実践</li>   <li>- コミュニケーション (情報の処理)</li> <li>・状況対応能力の育成、実践</li> <li>・状況理解力の活用、実践</li> <li>・ミーティング運営技術の活用、実践</li> </ul>
	レベル6		
	レベル5	ピーク時の要員数 10 人以上 50 人未満、または 100 拠点以上 300 拠点未満の中規模ネットワークプロジェクトにおける技術チーム責任者として、部長相当以上の方々及び技術チームメンバとプロジェクトに関する技術的な意思疎通を図り、コミュニケーションを行うことができる	
	レベル4		
	レベル3		

# IT アーキテクトのスキル熟達度・知識項目

職種共通スキル項目	スキル熟達度		知識項目	
専門分野: ネットワーク  ネゴシエーション	レベル7		<ul style="list-style-type: none"> <li>- ネゴシエーション</li> <li>・交渉プロセスの把握、実践</li> <li>・効果的な交渉技法の活用、実践</li> <li>・信頼関係の確立</li> <li>・目標の設定</li> <li>・共通利益</li> <li>・論理的思考の実施</li> <li>・問題解決手法の活用、実践</li> </ul>	
	レベル6			ピーク時の要員数 50 人以上、または 300 拠点以上の大規模ネットワークで、複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおける技術チーム責任者として、事業部長相当または部長相当以上の方々及び技術チームメンバとプロジェクトに関する技術的なネゴシエーションを行い、同意を得ることができる
	レベル5			ピーク時の要員数 10 人以上 50 人未満、または 100 拠点以上 300 拠点未満の中規模ネットワークプロジェクトにおける技術チーム責任者として、部長相当以上の方々及び技術チームメンバとプロジェクトに関する技術的なネゴシエーションを行うことができる
	レベル4			
	レベル3			

# IT アーキテクトのスキル熟達度・知識項目

専門分野固有スキル項目	スキル熟達度		知識項目
専門分野: ネットワーク  ネットワークデザイン	レベル7		<ul style="list-style-type: none"> <li>- ネットワークストラテジの検証と策定</li> <li>- ネットワークアーキテクチャの検証と策定</li> <li>- ネットワーク環境の検証</li> <li>- ネットワーク要件の検証と策定</li> <li>- ネットワークデザイン                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・トポロジ選択</li> <li>・コンポーネント選択</li> <li>・ネットワーク標準選択</li> </ul> </li> <li>- ネットワークデザインメソドロジの活用</li> </ul>
	レベル6	ピーク時の要員数 50 人以上、または 300 拠点以上の大規模ネットワークで、複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおける技術チーム責任者として、ネットワークストラテジ/アーキテクチャ/要件の検証と策定、及びネットワークデザインメソドロジの選択、活用を行い、ネットワークデザインを実施することができる	
	レベル5	ピーク時の要員数 10 人以上 50 人未満、または 100 拠点以上 300 拠点未満の中規模ネットワークプロジェクトにおける技術チーム責任者として、ネットワークストラテジ/アーキテクチャ/要件の検証と策定、及びネットワークデザインメソドロジの選択、活用を行い、ネットワークデザインを実施することができる	
	レベル4		
	レベル3		

## スキル熟達度・知識項目

職種:IT アーキテクト

専門分野:セキュリティ

# IT アーキテクトのスキル熟達度・知識項目

職種共通スキル項目	スキル熟達度		知識項目
専門分野: セキュリティ  アーキテクチャ構築	レベル7		<ul style="list-style-type: none"> <li>- ソリューションアーキテクチャ構築</li> <li>・ビジネス要件分析、定義</li> <li>・ソリューション構造の検討、作成</li>   <li>- 代替ソリューション分析</li> <li>・ビジネス要件分析、定義</li> <li>・代替ソリューションの識別、比較</li> <li>・代替ソリューション構造の検討、作成</li>   <li>- 要件分析</li> <li>・ビジネスゴール、ビジネス目標の把握</li> <li>・ビジネス要件分析、定義、優先順位付け</li> </ul>
	レベル6	ピーク時の要員数50人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおける技術チーム責任者として、要件分析、ソリューションアーキテクチャ構築、代替ソリューション分析を行い、セキュリティ領域を中心としたソリューションアーキテクチャ構築を成功裡に実施することができる	
	レベル5	ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにおける技術チーム責任者として、要件分析、ソリューションアーキテクチャ構築、代替ソリューション分析を行い、セキュリティ領域を中心としたソリューションアーキテクチャ構築を成功裡に実施することができる	
	レベル4		
	レベル3		

# IT アーキテクトのスキル熟達度・知識項目

職種共通スキル項目	スキル熟達度		知識項目
専門分野: セキュリティ  デザイン	レベル7	ピーク時の要員数50人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおける技術チーム責任者として、モデリングテクニックの活用、技術検証、IT 標準の適用を行い、セキュリティ領域を中心としたソリューションのデザインを成功裡に実施することができる	<ul style="list-style-type: none"> <li>- モデリングテクニック活用</li> <li>・プロトタイピング活用と実践</li> <li>・ベンチマーキング活用と実践</li> <li>・パフォーマンスモデリング活用と実践</li>   <li>- 再利用手法</li> <li>・ソフトウェア部品の利用</li> <li>・先行プロジェクトの成果物利用</li>   <li>- 技術検証</li>   <li>- 規模見積</li>   <li>- IT 標準の適用</li>   <li>- データモデリング、プロセスモデリングの適用</li> </ul>
	レベル6		
	レベル5	ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにおける技術チーム責任者として、モデリングテクニックの活用、技術検証、IT 標準の適用を行い、セキュリティ領域を中心としたソリューションのデザインを成功裡に実施することができる	
	レベル4		
	レベル3		

# IT アーキテクトのスキル熟達度・知識項目

職種共通スキル項目	スキル熟達度		知識項目	
専門分野: セキュリティ  テクニカル	レベル7		<ul style="list-style-type: none"> <li>- 技術動向</li> <li>・アプリケーションに関する技術動向の把握と提言</li> <li>・データサービス技術動向の基本的把握と提言</li> <li>・ネットワーク技術動向の基本的把握と提言</li> <li>・セキュリティ技術動向の基本的把握と提言</li> <li>・システムサービス技術動向の基本的把握と提言</li>   <li>- プラットフォームとソリューションコンポーネントの比較</li> <li>・複数のプラットフォームとコンポーネント間の比較と最適解の決定</li>   <li>- システム運用技術の検証</li>   <li>- 技術問題解決</li> </ul>	
	レベル6			ピーク時の要員数50人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおける技術チーム責任者として、技術動向の把握、技術的問題解決等を行い、セキュリティ領域を中心としたソリューション構築に関する技術的な提言を行うことができる
	レベル5			ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにおける技術チーム責任者として、技術動向の把握、技術的問題解決等を行い、セキュリティ領域を中心としたソリューション構築に関する技術的な提言を行うことができる
	レベル4			
	レベル3			

# IT アーキテクトのスキル熟達度・知識項目

職種共通スキル項目	スキル熟達度		知識項目
専門分野: セキュリティ  メソッドロジ	レベル7	/	<ul style="list-style-type: none"> <li>- メソッドロジの選択と適用</li> <li>・比較</li> <li>・分析</li> <li>・選定</li> <li>・適用</li>   <li>- 適用業務開発プロセス</li> <li>・ウォーターフォール型、スパイラル型、RAD 型等の最適開発プロセスの検討と適用</li> </ul>
	レベル6	ピーク時の要員数50人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおける技術チーム責任者として、最適なメソッドロジを選択、適用し、セキュリティ領域を中心としたソリューション構築を成功裡に実施することができる	
	レベル5	ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにおける技術チーム責任者として、最適なメソッドロジを選択、適用し、セキュリティ領域を中心としたソリューション構築を成功裡に実施することができる	
	レベル4	/	
	レベル3	/	

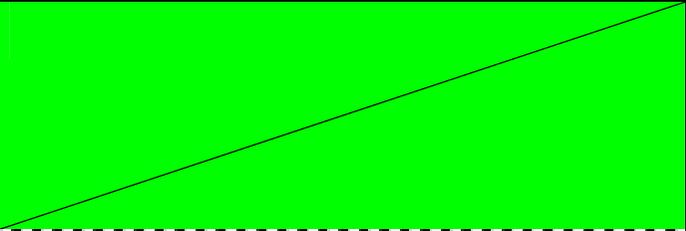
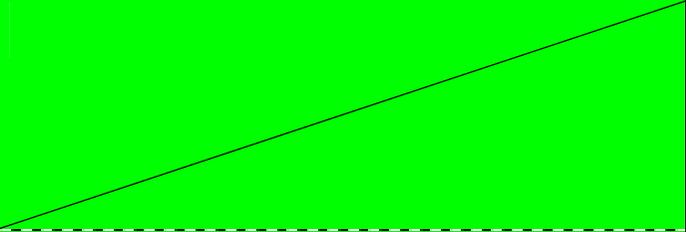
# IT アーキテクトのスキル熟達度・知識項目

職種共通スキル項目	スキル熟達度		知識項目
専門分野: セキュリティ  コンサルティング	レベル7	/	- コンサルティング技術 ・データ収集 ・データ分析 ・仮説設定 ・検証
	レベル6	ピーク時の要員数50人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおける技術チーム責任者として、コンサルティング技術を活用し、セキュリティ領域を中心としたソリューション構築を成功裡に実施することができる	
	レベル5	ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにおける技術チーム責任者として、コンサルティング技術を活用し、セキュリティ領域を中心としたソリューション構築を成功裡に実施することができる	
	レベル4	/	
	レベル3	/	

# IT アーキテクトのスキル熟達度・知識項目

職種共通スキル項目	スキル熟達度		知識項目
専門分野: セキュリティ  プロジェクトマネジメン ト	レベル7		<ul style="list-style-type: none"> <li>- プロジェクト計画策定</li> <li>・プロジェクト計画メソッドの活用、実践</li>   <li>- プロジェクト計画の実施</li> <li>・一般的な管理スキルの活用、実践</li> <li>・製品スキルと知識の修得と活用</li> <li>・承認プロセスの把握</li> <li>・進捗管理会議運営</li> <li>・組織プロシージャの把握</li>   <li>- 統合変更管理</li> <li>・変更管理</li> <li>・構成管理</li> <li>・プロジェクト進捗評価基準の活用、実践</li>   <li>- ソフトウェアエンジニアリング</li> <li>・アプリケーション開発手法の活用、実践</li> </ul>
	レベル6	ピーク時の要員数50人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおける技術チーム責任者として、プロジェクト計画策定、計画実施、変更管理を行い、セキュリティ領域を中心としたソリューション構築を成功裡に実施することができる	
	レベル5	ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにおける技術チーム責任者として、プロジェクト計画策定、計画実施、変更管理を行い、セキュリティ領域を中心としたソリューション構築を成功裡に実施することができる	
	レベル4		
	レベル3		

# IT アーキテクトのスキル熟達度・知識項目

職種共通スキル項目	スキル熟達度		知識項目
専門分野: セキュリティ インダストリ	レベル7		<ul style="list-style-type: none"> <li>- インダストリアプリケーション</li> <li>・共通アプリケーション</li> <li>・インダストリ固有アプリケーション</li>   <li>- インダストリビジネス動向、技術動向、競業状況の把握</li>   <li>- インダストリ用語、関連法規の把握と活用</li> </ul>
	レベル6		
	レベル5	ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにおける技術チーム責任者として、業界に関わる情報、状況を適格に把握し、セキュリティ領域を中心とした業界に最適なソリューションの構築を成功裡に実施することができる	
	レベル4		
	レベル3		

# IT アーキテクトのスキル熟達度・知識項目

職種共通スキル項目	スキル熟達度		知識項目
専門分野: セキュリティ  リーダーシップ	レベル7	(斜線表示)	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 技術的方向性の設定</li> <li>・リーダーシップの基本や原則の把握、実践</li> </ul>
	レベル6		
	レベル5	ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにおける技術チーム責任者として、セキュリティ領域を中心としたソリューション構築を成功裡に実施することができる	<ul style="list-style-type: none"> <li>- リーダーシップ(技術チーム内)</li> <li>・目標の設定</li> <li>・IT アーキテクト業務の推進</li> <li>・IT アーキテクト業務の実行</li> <li>・IT アーキテクト業務管理</li> <li>・チームメンバとの連携</li> <li>・チームメンバの動機付けと達成感共有</li> </ul>
	レベル4	(斜線表示)	<ul style="list-style-type: none"> <li>- リーダーシップ(技術チーム以外)</li> <li>・目標の共有</li> <li>・IT アーキテクト業務の推進</li> <li>・IT アーキテクト業務の実行</li> <li>・協業</li> </ul>
	レベル3		(斜線表示)

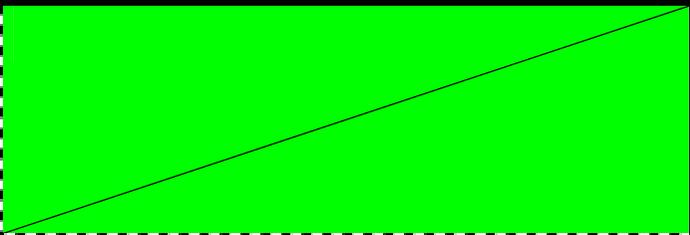
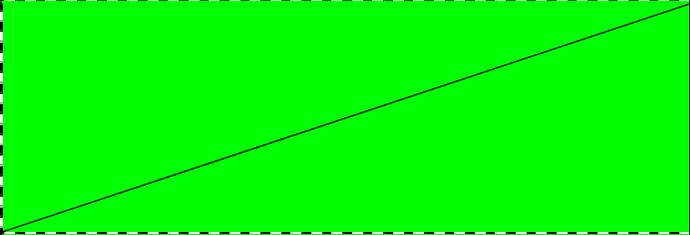
# IT アーキテクトのスキル熟達度・知識項目

職種共通スキル項目	スキル熟達度		知識項目
専門分野: セキュリティ  コミュニケーション	レベル7	ピーク時の要員数50人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおける技術チーム責任者として、事業部長相当または部長相当以上の方々及び技術チームメンバとプロジェクトに関する技術的な意思疎通を図り、コミュニケーションを行うことができる	<ul style="list-style-type: none"> <li>- コミュニケーション(2way)</li> <li>・対話、インタビューの実施</li> <li>・意思疎通</li> <li>・コミュニケーション手法の活用、実践</li> <li>・効果的な話し方、聞き方の活用、実践</li>   <li>- コミュニケーション(情報伝達)</li> <li>・プレゼンテーション技術の活用、実践</li> <li>・公式、非公式文書の作成</li> <li>・文書表現、表現技法の活用、実践</li> <li>・メディア選択</li> <li>・説得技法の活用、実践</li>   <li>- コミュニケーション(情報の処理)</li> <li>・状況対応能力の育成、実践</li> <li>・状況理解力の活用、実践</li> <li>・ミーティング運営技術の活用、実践</li> </ul>
	レベル6		
	レベル5	ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにおける技術チーム責任者として、部長相当以上の方々及び技術チームメンバとプロジェクトに関する技術的な意思疎通を図り、コミュニケーションを行うことができる	
	レベル4		
	レベル3		

# IT アーキテクトのスキル熟達度・知識項目

職種共通スキル項目	スキル熟達度		知識項目
専門分野: セキュリティ  ネゴシエーション	レベル7	ピーク時の要員数50人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおける技術チーム責任者として、事業部長相当または部長相当以上の方々及び技術チームメンバとプロジェクトに関する技術的なネゴシエーションを行い同意を得ることができる	<ul style="list-style-type: none"> <li>- ネゴシエーション</li> <li>・交渉プロセスの把握、実践</li> <li>・効果的な交渉技法の活用、実践</li> <li>・信頼関係の確立</li> <li>・目標の設定</li> <li>・共通利益</li> <li>・論理的思考の実施</li> <li>・問題解決手法の活用、実践</li> </ul>
	レベル6		
	レベル5	ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにおける技術チーム責任者として、部長相当以上の方々及び技術チームメンバとプロジェクトに関する技術的なネゴシエーションを行うことができる	
	レベル4		
	レベル3		

# IT アーキテクトのスキル熟達度・知識項目

専門分野固有スキル項目	スキル熟達度		知識項目
専門分野: セキュリティ セキュリティデザイン	レベル7		<ul style="list-style-type: none"> <li>- セキュリティ要件の把握</li> <li>- セキュリティ機能、プロトコル、運用の定義</li> <li>- セキュリティデザイン                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・耐監査性設計</li> <li>・機密性設計</li> <li>・可用性設計</li> <li>・完全性設計</li> <li>・識別と認証設計</li> </ul> </li> <li>・PKI</li> <li>・暗号化技術の適用</li> <li>・ネットワークセキュリティ技術の適用</li> <li>・その他</li> </ul>
	レベル6		
	レベル5	ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにおける技術チーム責任者として、セキュリティ要件を把握し、セキュリティ機能/プロトコル/運用の定義を行い、セキュリティ要件を満たすセキュリティデザインを実施することができる	
	レベル4		
	レベル3		

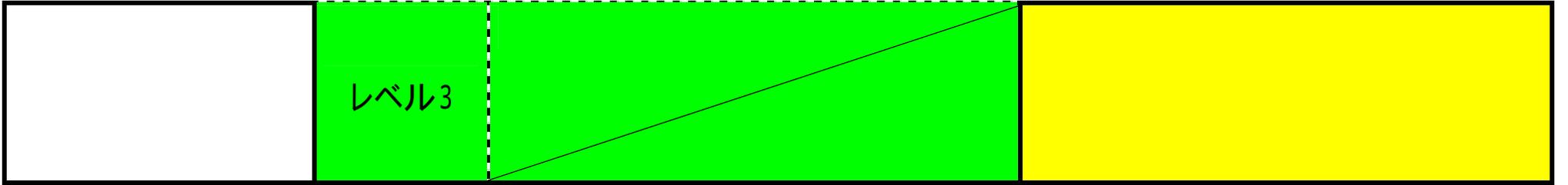
## スキル熟達度・知識項目

職種:IT アーキテクト

専門分野:システムマネジメント

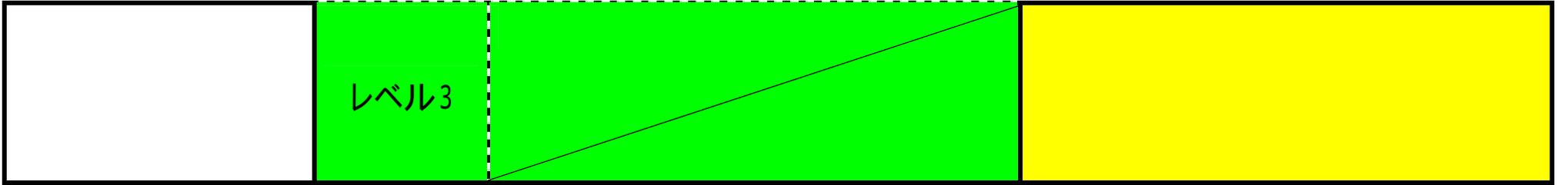
# IT アーキテクトのスキル熟達度・知識項目

職種共通スキル項目	スキル熟達度		知識項目
専門分野: システムマネジメント  アーキテクチャ構築	レベル7	ピーク時の要員数 500 人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおける技術チーム責任者として、要件分析、ソリューションアーキテクチャ構築、代替ソリューション分析を行い、システムマネジメント領域を中心としたアーキテクチャ構築を成功裡に実施することができる  また当該テーマに関して、学会、テクニカルコミュニティ、講演等で発表することができる	<ul style="list-style-type: none"> <li>- ソリューションアーキテクチャ構築</li> <li>・ビジネス要件分析、定義</li> <li>・ソリューション構造の検討、作成</li>   <li>- 代替ソリューション分析</li> <li>・ビジネス要件分析、定義</li> <li>・代替ソリューションの識別、比較</li> <li>・代替ソリューション構造の検討、作成</li>   <li>- 要件分析</li> <li>・ビジネスゴール、ビジネス目標の把握</li> <li>・ビジネス要件分析、定義、優先順位付け</li> </ul>
	レベル6	ピーク時の要員数 50 人以上 500 人未満で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおける技術チーム責任者として、要件分析、ソリューションアーキテクチャ構築、代替ソリューション分析を行い、システムマネジメント領域を中心としたソリューションアーキテクチャ構築を成功裡に実施することができる	
	レベル5	ピーク時の要員数 10 人以上 50 人未満のプロジェクトにおける技術チーム責任者として、要件分析、ソリューションアーキテクチャ構築、代替ソリューション分析を行い、システムマネジメント領域を中心としたソリューションアーキテクチャ構築を成功裡に実施することができる	
	レベル4	(This cell is currently empty in the provided image)	

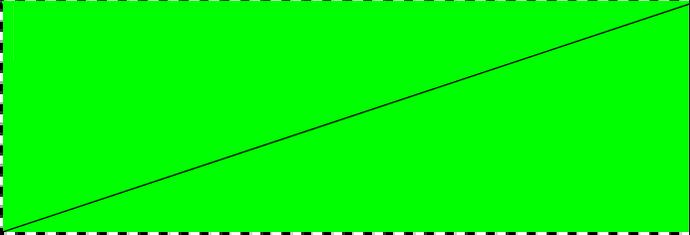
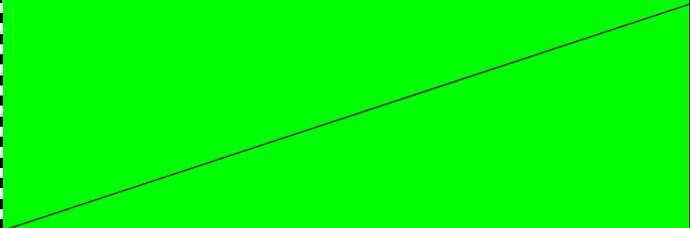


# IT アーキテクトのスキル熟達度・知識項目

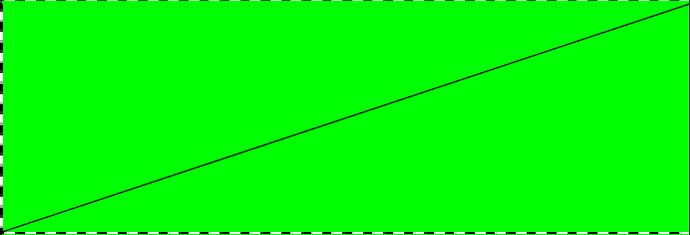
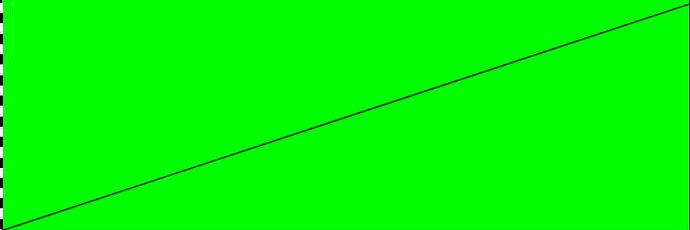
職種共通スキル項目	スキル熟達度		知識項目
専門分野: システムマネジメント  デザイン	レベル7	ピーク時の要員数 500 人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおける技術チーム責任者として、モデリングテクニックの活用、技術検証、IT 標準の適用を行い、システムマネジメント領域を中心としたソリューションのデザインを成功裡に実施することができる  また当該テーマに関して、学会、テクニカルコミュニティ、講演等で発表することができる	<ul style="list-style-type: none"> <li>- モデリングテクニック活用</li> <li>・プロトタイプ活用と実践</li> <li>・ベンチマーキング活用と実践</li> <li>・パフォーマンスモデリング活用と実践</li>   <li>- 再利用手法</li> <li>・ソフトウェア部品の利用</li> <li>・先行プロジェクトの成果物利用</li>   <li>- 技術検証</li>   <li>- 規模見積</li>   <li>- IT 標準の適用</li>   <li>- データモデリング、プロセスモデリングの適用</li> </ul>
	レベル6	ピーク時の要員数 50 人以上 500 人未満で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおける技術チーム責任者として、モデリングテクニックの活用、技術検証、IT 標準の適用を行い、システムマネジメント領域を中心としたソリューションのデザインを成功裡に実施することができる	
	レベル5	ピーク時の要員数 10 人以上 50 人未満のプロジェクトにおける技術チーム責任者として、モデリングテクニックの活用、技術検証、IT 標準の適用を行い、システムマネジメント領域を中心としたソリューションのデザインを成功裡に実施することができる	
	レベル4	(This cell is currently empty in the provided image)	



# IT アーキテクトのスキル熟達度・知識項目

職種共通スキル項目	スキル熟達度		知識項目
専門分野: システムマネジメント  テクニカル	レベル7	ピーク時の要員数 500 人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおける技術チーム責任者として、技術動向の把握、技術的問題解決等を行い、システムマネジメント領域を中心としたソリューション構築に関する技術的な提言を行うことができる また当該テーマに関して、学会、テクニカルコミュニティ、講演等で発表することができる	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 技術動向</li> <li>・アプリケーションに関する技術動向の把握と提言</li> <li>・データサービス技術動向の基本的把握と提言</li> <li>・ネットワーク技術動向の基本的把握と提言</li> <li>・セキュリティ技術動向の基本的把握と提言</li> <li>・システムサービス技術動向の基本的把握と提言</li>   <li>- プラットフォームとソリューションコンポーネントの比較</li> <li>・複数のプラットフォームとコンポーネント間の比較と最適解の決定</li>   <li>- システム運用技術の検証</li>   <li>- 技術問題解決</li> </ul>
	レベル6	ピーク時の要員数 50 人以上 500 人未満で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおける技術チーム責任者として、技術動向の把握、技術的問題解決等を行い、システムマネジメント領域を中心としたソリューション構築に関する技術的な提言を行うことができる	
	レベル5	ピーク時の要員数 10 人以上 50 人未満のプロジェクトにおける技術チーム責任者として、技術動向の把握、技術的問題解決等を行い、システムマネジメント領域を中心としたソリューション構築に関する技術的な提言を行うことができる	
	レベル4		
	レベル3		

# IT アーキテクトのスキル熟達度・知識項目

職種共通スキル項目	スキル熟達度		知識項目
専門分野: システムマネジメント  メソドロジ	レベル7	ピーク時の要員数 500 人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおける技術チーム責任者として、最適なメソドロジを選択、適用し、システムマネジメント領域を中心としたソリューション構築を成功裡に実施することができる また当該テーマに関して、学会、テクニカルコミュニティ、講演等で発表することができる	<ul style="list-style-type: none"> <li>- メソドロジの選択と適用</li> <li>・比較</li> <li>・分析</li> <li>・選定</li> <li>・適用</li>   <li>- 適用業務開発プロセス</li> <li>・ウォーターフォール型、スパイラル型、RAD 型等の最適開発プロセスの検討と適用</li> </ul>
	レベル6	ピーク時の要員数 50 人以上 500 人未満で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおける技術チーム責任者として、最適なメソドロジを選択、適用し、システムマネジメント領域を中心としたソリューション構築を成功裡に実施することができる	
	レベル5	ピーク時の要員数 10 人以上 50 人未満のプロジェクトにおける技術チーム責任者として、最適なメソドロジを選択、適用し、システムマネジメント領域を中心としたソリューション構築を成功裡に実施することができる	
	レベル4		
	レベル3		

# IT アーキテクトのスキル熟達度・知識項目

職種共通スキル項目	スキル熟達度		知識項目
専門分野: システムマネジメント コンサルティング	レベル7	ピーク時の要員数 500 人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおける技術チーム責任者として、コンサルティング技術を活用し、システムマネジメント領域を中心としたソリューション構築を成功裡に実施することができる また当該テーマに関して、学会、テクニカルコミュニティ、講演等で発表することができる	- コンサルティング技術 ・データ収集 ・データ分析 ・仮説設定 ・検証
	レベル6	ピーク時の要員数 50 人以上 500 人未満で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおける技術チーム責任者として、コンサルティング技術を活用し、システムマネジメント領域を中心としたソリューション構築を成功裡に実施することができる	
	レベル5	ピーク時の要員数 10 人以上 50 人未満のプロジェクトにおける技術チーム責任者として、コンサルティング技術を活用し、システムマネジメント領域を中心としたソリューション構築を成功裡に実施することができる	
	レベル4	(内容省略)	
	レベル3	(内容省略)	

# IT アーキテクトのスキル熟達度・知識項目

職種共通スキル項目	スキル熟達度		知識項目
専門分野: システムマネジメント  プロジェクトマネジメント	レベル7	ピーク時の要員数 500 人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおける技術チーム責任者として、プロジェクト計画策定、計画実施、変更管理を行い、システムマネジメント領域を中心としたソリューション構築を成功裡に実施することができる また当該テーマに関して、学会、テクニカルコミュニティ、講演等で発表することができる	<ul style="list-style-type: none"> <li>- プロジェクト計画策定</li> <li>・プロジェクト計画メソッドの活用、実践</li>   <li>- プロジェクト計画の実施</li> <li>・一般的な管理スキルの活用、実践</li> <li>・製品スキルと知識の修得と活用</li> <li>・承認プロセスの把握</li> <li>・進捗管理会議運営</li> <li>・組織プロシージャの把握</li>   <li>- 統合変更管理</li> <li>・変更管理</li> <li>・構成管理</li> <li>・プロジェクト進捗評価基準の活用、実践</li>   <li>- ソフトウェアエンジニアリング</li> <li>・アプリケーション開発手法の活用、実践</li> </ul>
	レベル6	ピーク時の要員数 50 人以上 500 人未満で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおける技術チーム責任者として、プロジェクト計画策定、計画実施、変更管理を行い、システムマネジメント領域を中心としたソリューション構築を成功裡に実施することができる	
	レベル5	ピーク時の要員数 10 人以上 50 人未満のプロジェクトにおける技術チーム責任者として、プロジェクト計画策定、計画実施、変更管理を行い、システムマネジメント領域を中心としたソリューション構築を成功裡に実施することができる	
	レベル4	/	
	レベル3	/	

# IT アーキテクトのスキル熟達度・知識項目

職種共通スキル項目	スキル熟達度		知識項目
専門分野: システムマネジメント インダストリ	レベル7	ピーク時の要員数 500 人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおける技術チーム責任者として、業界に関わる情報、状況を適格に把握し、システムマネジメント領域を中心とした業界に最適なソリューションの構築を成功裡に実施することができる また当該テーマに関して、学会、テクニカルコミュニティ、講演等で発表することができる	<ul style="list-style-type: none"> <li>- インダストリアプリケーション</li> <li>・共通アプリケーション</li> <li>・インダストリ固有アプリケーション</li>   <li>- インダストリビジネス動向、技術動向、競業状況の把握</li>   <li>- インダストリ用語、関連法規の把握と活用</li> </ul>
	レベル6	ピーク時の要員数 50 人以上 500 人未満で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおける技術チーム責任者として、業界に関わる情報、状況を適格に把握し、システムマネジメント領域を中心とした業界に最適なソリューションの構築を成功裡に実施することができる	
	レベル5	ピーク時の要員数 10 人以上 50 人未満のプロジェクトにおける技術チーム責任者として、業界に関わる情報、状況を適格に把握し、システムマネジメント領域を中心とした業界に最適なソリューションの構築を成功裡に実施することができる	
	レベル4	/	
	レベル3	/	

# IT アーキテクトのスキル熟達度・知識項目

職種共通スキル項目	スキル熟達度		知識項目
専門分野: システムマネジメント  リーダーシップ	レベル7	ピーク時の要員数 500 人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおける技術チーム責任者として、技術チームを指揮または命令し、システムマネジメント領域を中心としたソリューション構築を成功裡に実施することができる	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 技術的方向性の設定</li> <li>・リーダーシップの基本や原則の把握、実践</li>   <li>- リーダーシップ (一般)</li> <li>・リーダーシップの基本や原則の把握、実践</li> <li>・チームワークとコミュニケーションの実践</li>   <li>- リーダーシップ (技術チーム内)</li> <li>・目標の設定</li> <li>・IT アーキテクト業務の推進</li> <li>・IT アーキテクト業務の実行</li> <li>・IT アーキテクト業務管理</li> <li>・チームメンバとの連携</li> <li>・チームメンバの動機付けと達成感共有</li>   <li>- リーダーシップ (技術チーム以外)</li> <li>・目標の共有</li> <li>・IT アーキテクト業務の推進</li> <li>・IT アーキテクト業務の実行</li> <li>・協業</li> </ul>
	レベル6	ピーク時の要員数 50 人以上 500 人未満で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおける技術チーム責任者として、技術チームを指揮または命令し、システムマネジメント領域を中心としたソリューション構築を成功裡に実施することができる	
	レベル5	ピーク時の要員数 10 人以上 50 人未満のプロジェクトにおける技術チーム責任者として、技術チームを指揮または命令し、システムマネジメント領域を中心としたソリューション構築を成功裡に実施することができる	
	レベル4		
	レベル3		

# IT アーキテクトのスキル熟達度・知識項目

職種共通スキル項目	スキル熟達度		知識項目
専門分野: システムマネジメント  コミュニケーション	レベル7	ピーク時の要員数 500 人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおける技術チーム責任者として、経営者層の方々及び技術チームメンバとプロジェクトに関する技術的な意思疎通を図り、コミュニケーションを行うことができる	<ul style="list-style-type: none"> <li>- コミュニケーション (2way)</li> <li>・対話、インタビューの実施</li> <li>・意思疎通</li> <li>・コミュニケーション手法の活用、実践</li> <li>・効果的な話し方、聞き方の活用、実践</li>   <li>- コミュニケーション (情報伝達)</li> <li>・プレゼンテーション技術の活用、実践</li> <li>・公式、非公式文書の作成</li> <li>・文書表現、表現技法の活用、実践</li> <li>・メディア選択</li> <li>・説得技法の活用、実践</li>   <li>- コミュニケーション (情報の処理)</li> <li>・状況対応能力の育成、実践</li> <li>・状況理解力の活用、実践</li> <li>・ミーティング運営技術の活用、実践</li> </ul>
	レベル6	ピーク時の要員数 50 人以上 500 人未満で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおける技術チーム責任者として、事業部長相当または部長相当以上の方々及び技術チームメンバとプロジェクトに関する技術的な意思疎通を図り、コミュニケーションを行うことができる	
	レベル5	ピーク時の要員数 10 人以上 50 人未満のプロジェクトにおける技術チーム責任者として、部長相当以上の方々及び技術チームメンバとプロジェクトに関する技術的な意思疎通を図り、コミュニケーションを行うことができる	
	レベル4	(このレベルのスキル熟達度説明は表内に記載されていません)	
	レベル3	(このレベルのスキル熟達度説明は表内に記載されていません)	

# IT アーキテクトのスキル熟達度・知識項目

職種共通スキル項目	スキル熟達度		知識項目
専門分野: システムマネジメント ネゴシエーション	レベル7	ピーク時の要員数 500 人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおける責任者として、経営者層の方々及び技術チームメンバとプロジェクトに関する技術的かつ複雑なネゴシエーションをリードすることができる	<ul style="list-style-type: none"> <li>- ネゴシエーション</li> <li>・交渉プロセスの把握、実践</li> <li>・効果的な交渉技法の活用、実践</li> <li>・信頼関係の確立</li> <li>・目標の設定</li> <li>・共通利益</li> <li>・論理的思考の実施</li> <li>・問題解決手法の活用、実践</li> </ul>
	レベル6	ピーク時の要員数 50 人以上 500 人未満で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおける技術チーム責任者として、事業部長相当または部長相当以上の方々及び技術チームメンバとプロジェクトに関する技術的なネゴシエーションを行い同意を得ることができる	
	レベル5	ピーク時の要員数 10 人以上 50 人未満のプロジェクトにおける技術チーム責任者として、部長相当以上の方々及び技術チームメンバとプロジェクトに関する技術的なネゴシエーションを行うことができる	
	レベル4	(This level is currently blank in the provided image)	
	レベル3	(This level is currently blank in the provided image)	

# IT アーキテクトのスキル熟達度・知識項目

専門分野固有スキル項目	スキル熟達度		知識項目
専門分野: システムマネジメント  システム運用管理デザイン	レベル7	ピーク時の要員数 500 人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおける責任者として、システム運用要件を把握し、適切なシステム運用管理をデザインすることができる  また当該テーマに関して、学会、テクニカルコミュニティ、講演等で発表することができる	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 情報システム運用要件の把握</li> <li>- システム運用管理デザイン                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャパシティ管理の適用</li> <li>・問題管理の適用</li> <li>・変更管理の適用</li> <li>・回復管理の適用</li> <li>・災害対策の適用</li> <li>・構成管理の適用</li> <li>・インフラ設計</li> <li>・エンドユーザ支援設計</li> <li>・資産管理の適用</li> <li>・その他</li> </ul> </li> </ul>
	レベル6	ピーク時の要員数 50 人以上 500 人未満で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおける技術チーム責任者として、システム運用要件を把握し、適切なシステム運用管理をデザインすることができる	
	レベル5	ピーク時の要員数 10 人以上 50 人未満のプロジェクトにおける技術チーム責任者として、システム運用要件を把握し、適切なシステム運用管理をデザインすることができる	
	レベル4	(このレベルは斜線が入ったまま表示されています)	
	レベル3	(このレベルは斜線が入ったまま表示されています)	